



2023年度 後期
学生による授業改善アンケート集計結果

日本赤十字看護大学 さいたま看護学部

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】	3
2.	【演習】	4
3.	【実習】	5
4. 授業改善アンケート結果	【講義－全体】	6
5. 授業改善アンケート結果	【講義－科目別】	7
6. 教員からのコメント一覧	【講義】	48
7. 授業改善アンケート結果	【演習－全体】	52
8. 授業改善アンケート結果	【演習－科目別】	53
9. 教員からのコメント一覧	【演習】	62
10. 授業改善アンケート結果	【実習－全体】	64
11. 授業改善アンケート結果	【実習－科目別】	65
12. 教員からのコメント一覧	【実習】	83

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容はわかりやすかった	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	この授業は自分にとって価値があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私の授業への出席率は、(5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下)だった。	5(9割以上)、4(8～7割程度)、3(6～5割程度)、2(4割程度)、1(3割以下)
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
16	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【実習】 匿名式

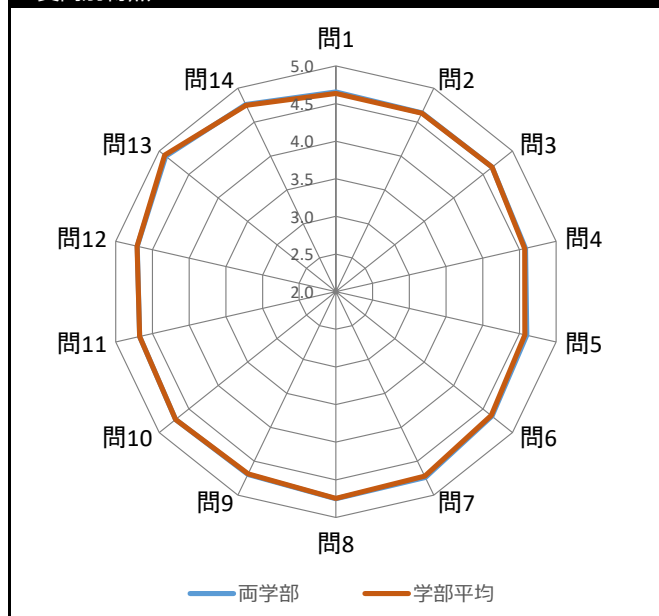
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	教員は、学生の考えを尊重しながら指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	教員と実習指導者の連携が取れていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	学生は、体調管理に努めた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
17	良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

学部名	さいたま看護学部		履修者数	2664	回答率	
			紙	2149	81%	81%
			WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked bar chart showing counts: 1476 (blue), 573 (green), 83 (yellow)]						4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked bar chart showing counts: 1480 (blue), 563 (green), 85 (yellow)]						4.63	4.64
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked bar chart showing counts: 1527 (blue), 532 (green), 67 (yellow)]						4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked bar chart showing counts: 1447 (blue), 535 (green), 120 (yellow)]						4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked bar chart showing counts: 1452 (blue), 525 (green), 127 (yellow)]						4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked bar chart showing counts: 1512 (blue), 521 (green), 93 (yellow)]						4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked bar chart showing counts: 1636 (blue), 447 (green)]						4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked bar chart showing counts: 1652 (blue), 450 (green)]						4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked bar chart showing counts: 1596 (blue), 463 (green)]						4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked bar chart showing counts: 1649 (blue), 432 (green)]						4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked bar chart showing counts: 1584 (blue), 464 (green), 72 (yellow)]						4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked bar chart showing counts: 1616 (blue), 451 (green), 65 (yellow)]						4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Stacked bar chart showing counts: 1969 (blue), 166 (green)]						4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked bar chart showing counts: 1678 (blue), 407 (green)]						4.75	4.76
問1~14全問平均								4.69	4.69

■ 質問別得点



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

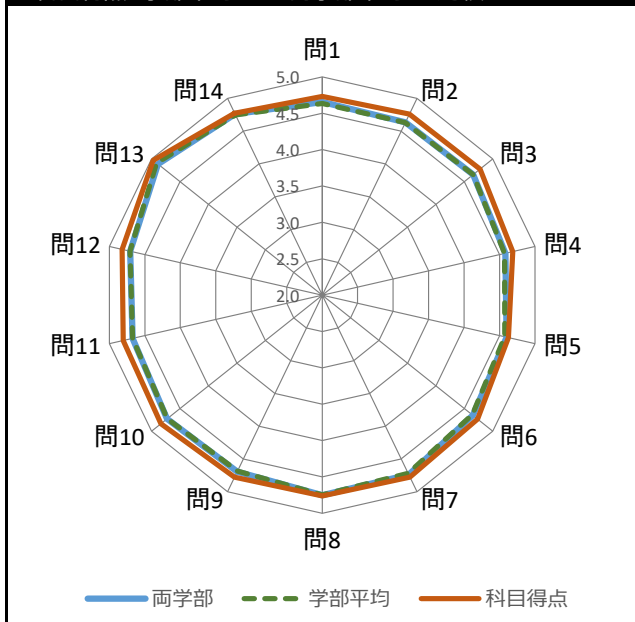
<質問別回答内訳>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

科目名	生命倫理 [2B0010]		履修者数	88	回答率	
教員名	田村 未希		回答数	67	76.1%	76.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 50% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']							4.73	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 52% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']							4.76	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']							4.78	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 48% 'Strongly agree' and 17% 'Agree']							4.69	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 47% 'Strongly agree', 15% 'Agree', and 5% 'Disagree']							4.63	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 51% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']							4.73	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']							4.78	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']							4.76	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']							4.78	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree' and 9% 'Agree']							4.84	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']							4.81	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']							4.82	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree']							4.97	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 54% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']							4.78	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.77	4.69	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

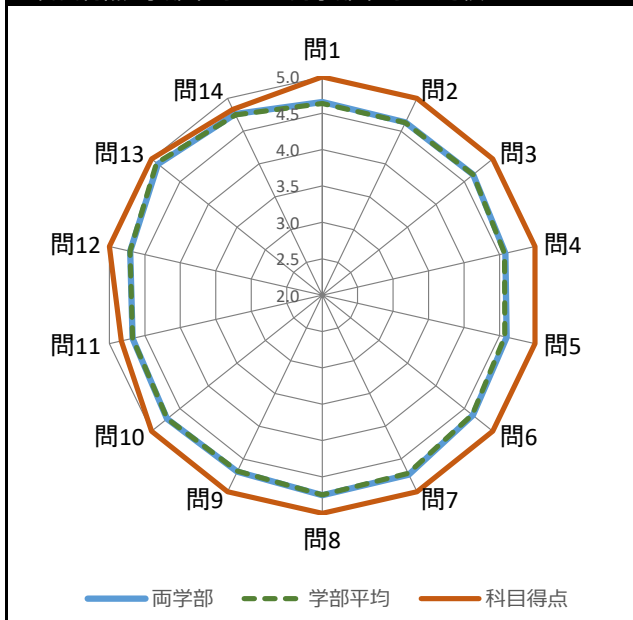
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	哲学と倫理	[2B0020]	履修者数	6	回答率	
教員名	田村 未希		回答紙	6	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	6							5.00	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6							5.00	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6							5.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	6							5.00	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	6							5.00	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	6							5.00	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6							5.00	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6							5.00	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	6							5.00	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	6							5.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5					1		4.83	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	6							5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	6							5.00	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5					1		4.83	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.98	4.69	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

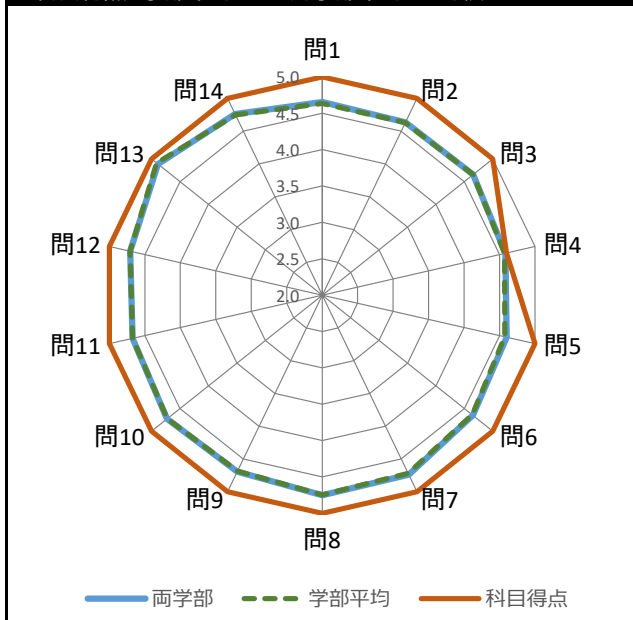
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	教育学概論	[2B0050]	履修者数	15	回答率	
教員名	渋谷 真樹		回答数	5	33.3%	33.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5						5.00	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5						5.00	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5						5.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	4				1		4.60	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5						5.00	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	5						5.00	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5						5.00	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5						5.00	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	5						5.00	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	5						5.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5						5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5						5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5						5.00	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5						5.00	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.97	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

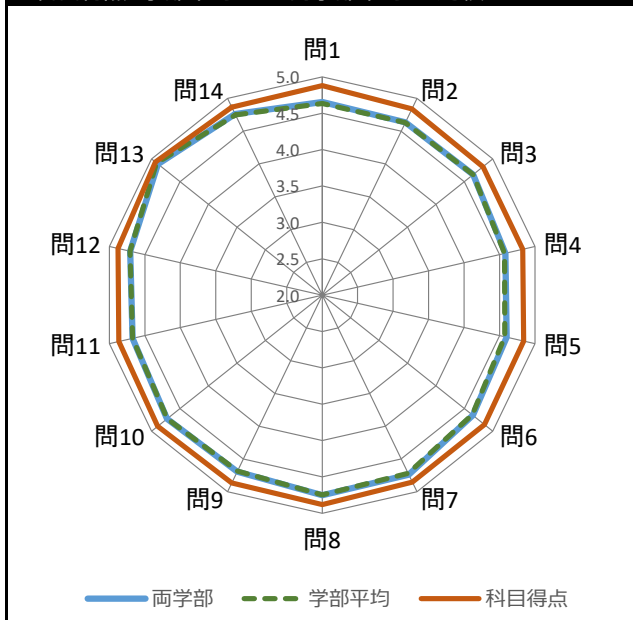
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	身体運動理論	[2B0070]	履修者数	87	回答率	
教員名	白井 美穂		回答数	75	86.2%	86.2%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0.0%	
				WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 66% for 'Yes' and 9% for 'No']						4.88	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 64% for 'Yes' and 10% for 'No']						4.84	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 66% for 'Yes' and 7% for 'No']						4.83	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 65% for 'Yes' and 8% for 'No']						4.83	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 65% for 'Yes' and 9% for 'No']						4.84	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 65% for 'Yes' and 9% for 'No']						4.85	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 66% for 'Yes' and 7% for 'No']						4.85	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 67% for 'Yes' and 7% for 'No']						4.88	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 67% for 'Yes' and 7% for 'No']						4.87	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 68% for 'Yes' and 6% for 'No']						4.89	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 66% for 'Yes' and 8% for 'No']						4.87	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 66% for 'Yes' and 7% for 'No']						4.88	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 71% for 'Yes' and 3% for 'No']						4.93	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 66% for 'Yes' and 8% for 'No']						4.87	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.86	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

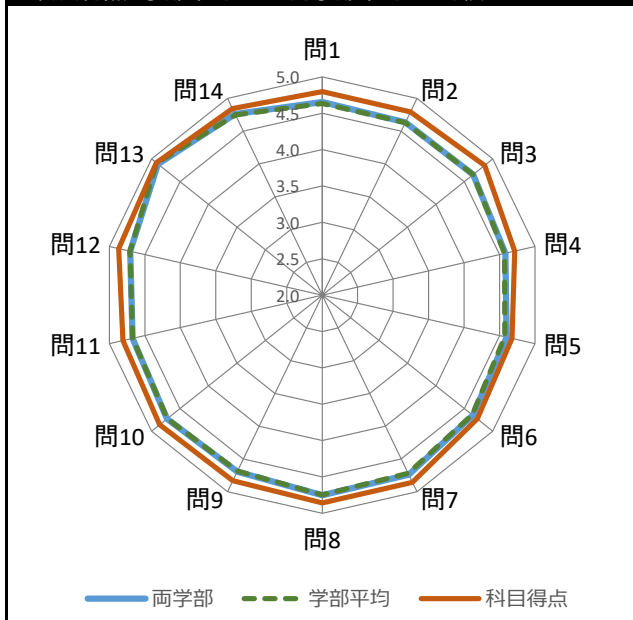
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	社会学概論	[2C0010]	履修者数	92	回答率		
教員名	鷹田 佳典		回答数	84	91.3%	91.3%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 70% '4' and 11% '5']						4.80	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 70% '4' and 12% '5']						4.80	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 73% '4' and 10% '5']						4.86	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 66% '4' and 14% '5']						4.71	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 64% '4' and 13% '5']						4.67	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 67% '4' and 12% '5']						4.73	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 75% '4' and 7% '5']						4.86	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 74% '4' and 9% '5']						4.86	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 74% '4' and 8% '5']						4.83	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 74% '4' and 9% '5']						4.86	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 72% '4' and 10% '5']						4.81	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 74% '4' and 9% '5']						4.87	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 78% '4' and 5% '5']						4.92	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 71% '4' and 13% '5']						4.85	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.82	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

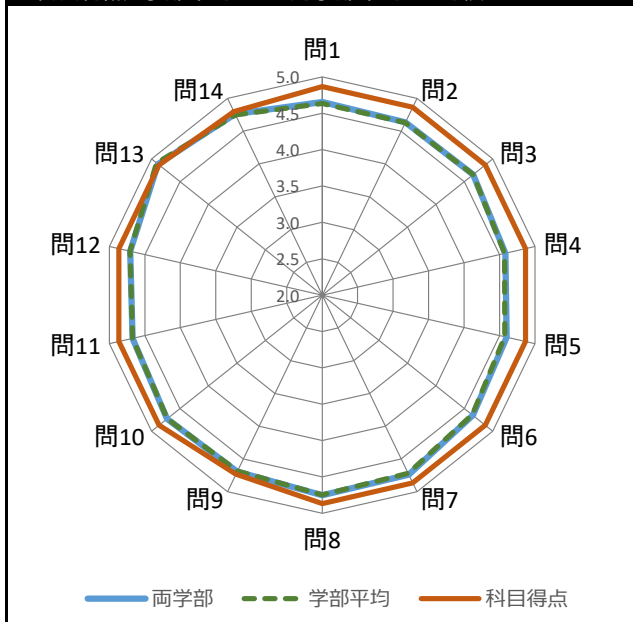
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	臨床社会学	[2C0020]	履修者数	17	回答率		
教員名	鷹田 佳典		回答数	15	88.2%	88.2%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	15	88.2%	
				WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 11 blue, 4 green]						4.73	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 12 blue, 3 green]						4.80	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.85	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

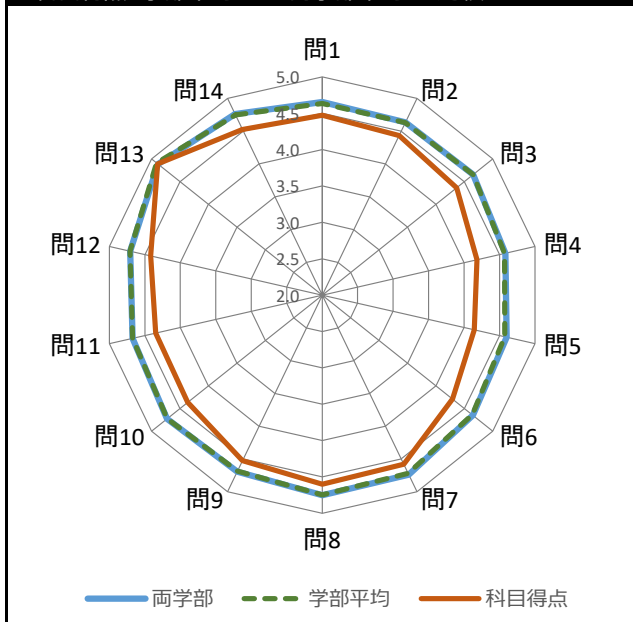
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	日本国憲法	[2C0040]	履修者数	90	回答率	
教員名	川口 かしみ		回 答 数	紙 55	61.1%	61.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB 0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked bar chart showing 33 (blue), 16 (green), 5 (yellow)]						4.47	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked bar chart showing 34 (blue), 13 (green), 6 (yellow), 2 (orange)]						4.44	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked bar chart showing 33 (blue), 14 (green), 5 (yellow), 2 (orange)]						4.36	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked bar chart showing 28 (blue), 18 (green), 2 (yellow), 5 (orange), 2 (red)]						4.18	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked bar chart showing 27 (blue), 14 (green), 10 (yellow), 3 (orange)]						4.15	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked bar chart showing 28 (blue), 17 (green), 8 (yellow), 2 (orange)]						4.29	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked bar chart showing 36 (blue), 16 (green), 2 (yellow), 2 (orange)]						4.58	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked bar chart showing 37 (blue), 14 (green), 4 (yellow), 2 (orange)]						4.60	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked bar chart showing 36 (blue), 13 (green), 5 (yellow), 2 (orange)]						4.53	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked bar chart showing 34 (blue), 12 (green), 6 (yellow), 2 (orange)]						4.36	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked bar chart showing 34 (blue), 12 (green), 5 (yellow), 2 (orange), 2 (red)]						4.35	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked bar chart showing 33 (blue), 12 (green), 10 (yellow), 2 (orange)]						4.42	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Stacked bar chart showing 49 (blue), 6 (green)]						4.89	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked bar chart showing 36 (blue), 14 (green), 3 (yellow), 2 (orange)]						4.53	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.44	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

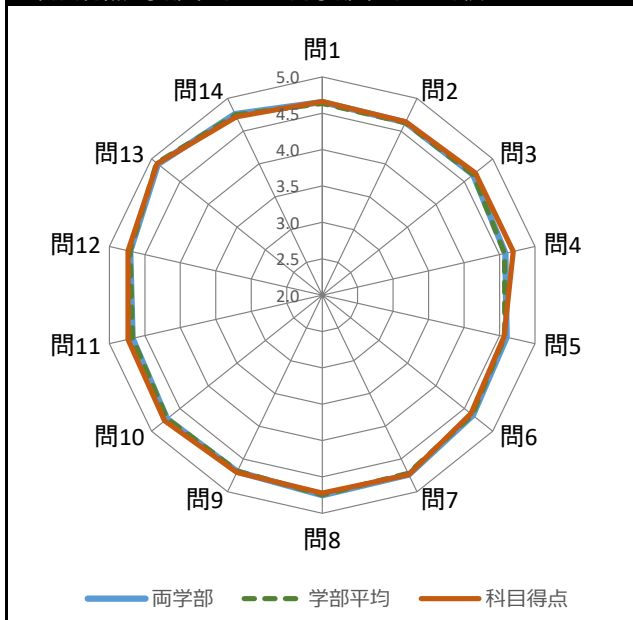
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	生活環境論	[2C0050]	履修者数	88	回答率		
教員名	永井 健太		回答数	62	70.5%	70.5%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 42% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']							4.66	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree' and 22% for 'Agree']							4.65	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']							4.69	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']							4.69	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree' and 23% for 'Agree']						2	4.56	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 39% for 'Strongly agree' and 22% for 'Agree']							4.61	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']							4.74	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']							4.72	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']						2	4.70	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']							4.77	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']							4.74	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']							4.74	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 55% for 'Strongly agree' and 6% for 'Agree']							4.90	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						2	4.72	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.71	4.69	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

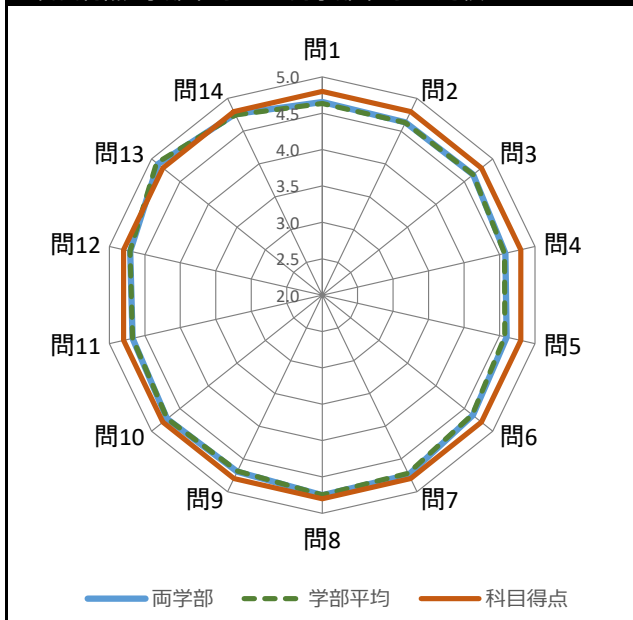
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	数学	[2D0010]	履修者数	10	回答率		
教員名	松原 和樹		回答紙	10	100.0%	100.0%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 9 responses for '役に立った' and 1 for '役に立たなかった']						4.80	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 9 responses for '効果的だった' and 1 for '効果的ではなかった']						4.80	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 9 responses for '適切だった' and 1 for '適切ではなかった']						4.80	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 9 responses for 'わかりやすかった' and 1 for 'わかりやすくない']						4.80	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 9 responses for '興味のあるものだった' and 1 for '興味のないものだった']						4.80	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 9 responses for '価値があった' and 1 for '価値がなかった']						4.80	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 9 responses for '適切だった' and 1 for '適切ではなかった']						4.80	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 9 responses for '適切だった' and 1 for '適切ではなかった']						4.80	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 9 responses for '適切だった' and 1 for '適切ではなかった']						4.80	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 9 responses for '伝わってきた' and 1 for '伝わってこなかった']						4.80	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 9 responses for '適切だった' and 1 for '適切ではなかった']						4.80	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 9 responses for '適切に回答した' and 1 for '適切に回答しなかった']						4.80	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 9 responses for '出席率が高い' and 1 for '出席率が低い']						4.80	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 9 responses for '意欲的・積極的に取り組んだ' and 1 for '意欲的・積極的に取り組まなかった']						4.80	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.80	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

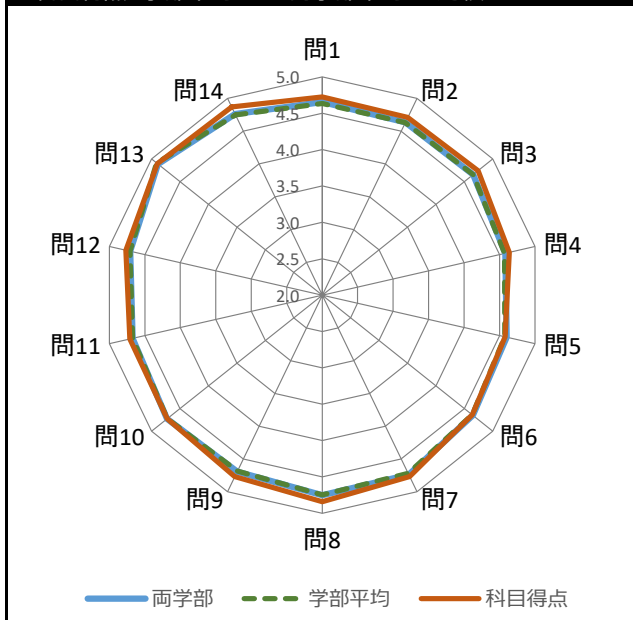
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	日本語の表現 [2F0010]		履修者数	85	回答率	
教員名	越後 敬子		回答数	69	81.2%	81.2%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 52% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']						4.72	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 52% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.71	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 53% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']						4.74	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 51% for 'Strongly agree', 13% for 'Agree', and 4% for 'Disagree']						4.64	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree', 12% for 'Agree', and 7% for 'Disagree']						4.58	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 50% for 'Strongly agree', 14% for 'Agree', and 4% for 'Disagree']						4.64	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 55% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.77	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 58% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.84	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 56% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.77	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 54% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.72	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 52% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.71	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 53% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']						4.77	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 62% for 'Strongly agree' and 7% for 'Disagree']						4.90	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 60% for 'Strongly agree' and 9% for 'Disagree']						4.87	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.74	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

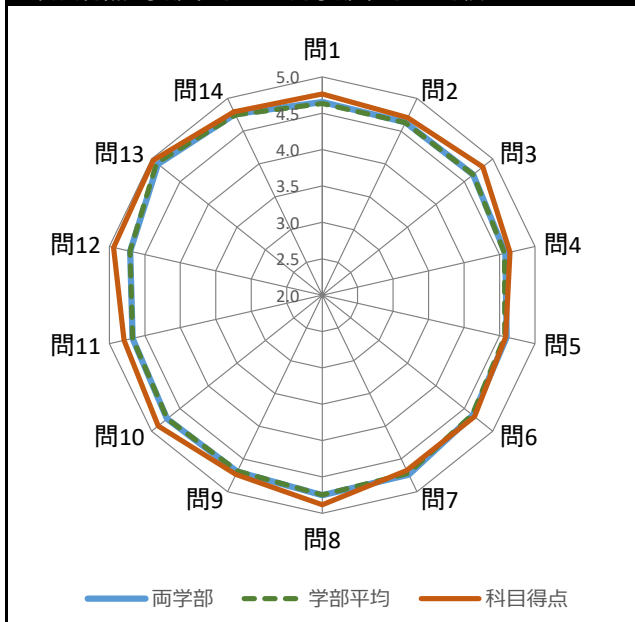
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語RW II	[2F0031]	履修者数	44	回答率		
教員名	川崎 修一		回答紙	34	77.3%	77.3%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 27 for 'Strongly agree' and 6 for 'Agree']						4.76	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 26 for 'Strongly agree', 6 for 'Agree', and 2 for 'Disagree']						4.71	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 29 for 'Strongly agree' and 4 for 'Agree']						4.82	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 24 for 'Strongly agree' and 9 for 'Agree']						4.65	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 24 for 'Strongly agree', 7 for 'Agree', and 2 for 'Disagree']						4.59	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 24 for 'Strongly agree' and 9 for 'Agree']						4.68	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 27 for 'Strongly agree' and 5 for 'Agree']						4.68	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 30 for 'Strongly agree' and 4 for 'Agree']						4.88	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 28 for 'Strongly agree' and 4 for 'Agree']						4.74	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 30 for 'Strongly agree' and 4 for 'Agree']						4.88	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 29 for 'Strongly agree' and 4 for 'Agree']						4.79	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 32 for 'Strongly agree' and 2 for 'Disagree']						4.94	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 33 for 'Strongly agree']						4.97	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 28 for 'Strongly agree' and 5 for 'Agree']						4.79	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.78	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

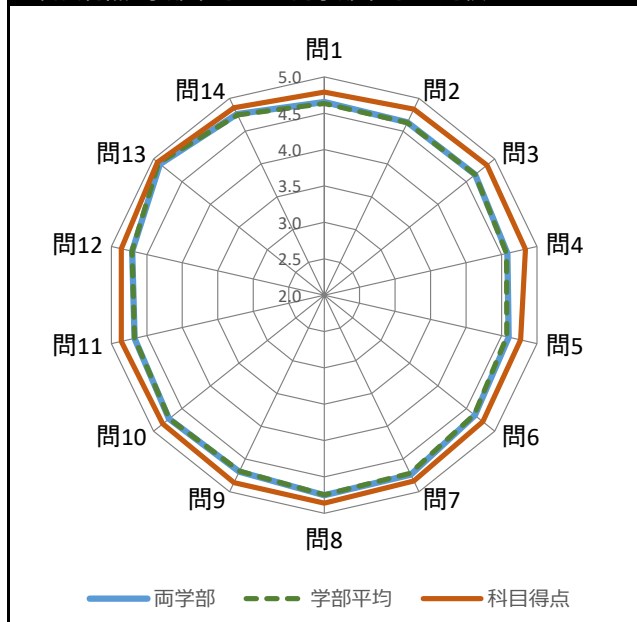
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語RW II	[2F0032]	履修者数	45	回答率		
教員名	遠藤 花子		回答紙	43	95.6%	95.6%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 35 responses for '役に立った' and 7 for '役に立たなかった']						4.79	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 36 responses for '効果的だった' and 7 for '効果的ではなかった']						4.84	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 37 responses for '適切だった' and 6 for '適切ではなかった']						4.86	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 36 responses for 'わかりやすかった' and 7 for 'わかりやすくない']						4.84	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 34 responses for '興味のあるものだった' and 8 for '興味のないものだった']						4.77	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 36 responses for '価値があった' and 5 for '価値がなかった' and 2 for '不明']						4.79	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 36 responses for '適切だった' and 7 for '適切ではなかった']						4.84	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 37 responses for '適切だった' and 6 for '適切ではなかった']						4.86	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 37 responses for '適切だった' and 6 for '適切ではなかった']						4.86	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 36 responses for '伝わってきた' and 7 for '伝わってこなかった']						4.84	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 37 responses for '適切だった' and 6 for '適切ではなかった']						4.86	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 37 responses for '適切に回答した' and 6 for '適切に回答しなかった']						4.86	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 40 responses for '出席率が高い' and 3 for '出席率が低い']						4.93	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 39 responses for '意欲的・積極的に取り組んだ' and 3 for '意欲的・積極的に取り組まなかった']						4.86	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.84	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

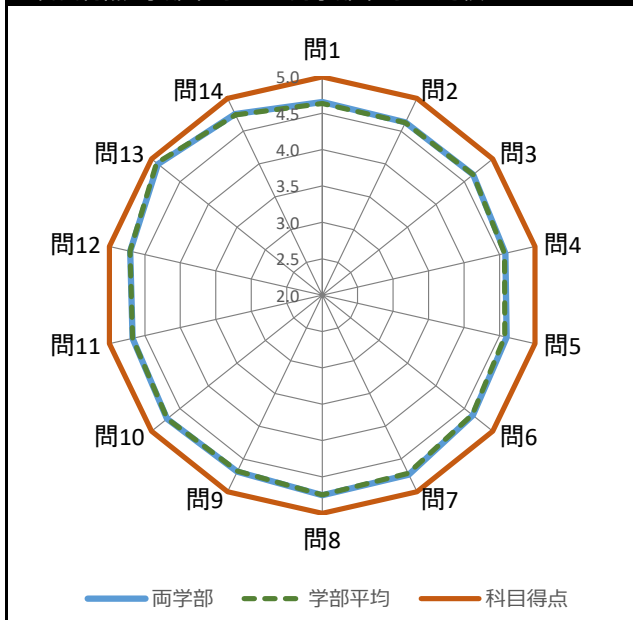
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	中国語Ⅱ	[2F0080]	履修者数	7	回答率		
教員名	王 牧		回答紙	7	100.0%	100.0%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 7 responses]						5.00	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 7 responses]						5.00	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 7 responses]						5.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 7 responses]						5.00	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 7 responses]						5.00	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 7 responses]						5.00	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 7 responses]						5.00	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 7 responses]						5.00	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 7 responses]						5.00	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 7 responses]						5.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 7 responses]						5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 7 responses]						5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 7 responses]						5.00	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 7 responses]						5.00	4.75	4.76
問1~14全問平均								5.00	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

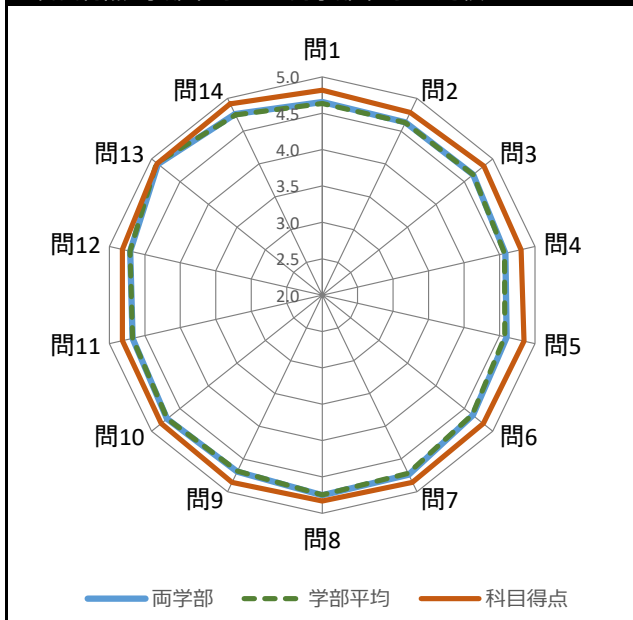
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	韓国語Ⅱ		[2F0100]	履修者数	77	回答率	
教員名	高 昌弘			回 紙	71	92.2%	92.2%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	答 数	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.82	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.79	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 9% 'Agree']						4.85	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 7% 'Agree']						4.80	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 8% 'Agree']						4.85	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 7% 'Agree']						4.83	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.86	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.83	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 8% 'Agree']						4.86	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 9% 'Agree']						4.83	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.82	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.82	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree' and 7% 'Agree']						4.90	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree' and 6% 'Agree']						4.92	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.84	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

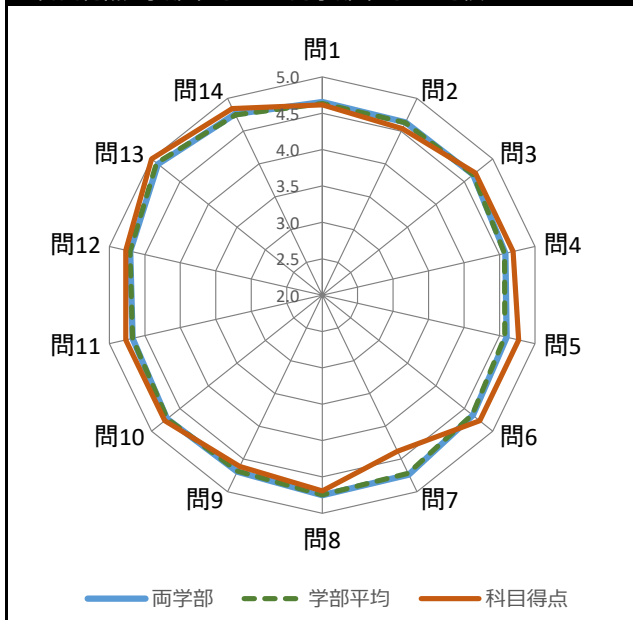
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0021]	履修者数	13	回答率		
教員名	遠藤 公久		回答数	13	100.0%	100.0%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	
				WEB			

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 9 votes for 4, 3 for 5, 1 for 3]						4.62	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 8 votes for 4, 4 for 5, 1 for 3]						4.54	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 9 votes for 4, 4 for 5]						4.69	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 9 votes for 4, 4 for 5]						4.69	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 10 votes for 4, 3 for 5]						4.77	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 10 votes for 4, 3 for 5]						4.77	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 7 votes for 4, 5 for 5, 1 for 3]						4.38	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 9 votes for 4, 4 for 5]						4.69	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 8 votes for 4, 5 for 5]						4.62	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 10 votes for 4, 3 for 5]						4.77	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 10 votes for 4, 3 for 5]						4.77	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 10 votes for 4, 3 for 5]						4.77	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 13 votes for 5]						5.00	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 11 votes for 4, 2 for 5]						4.85	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.71	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

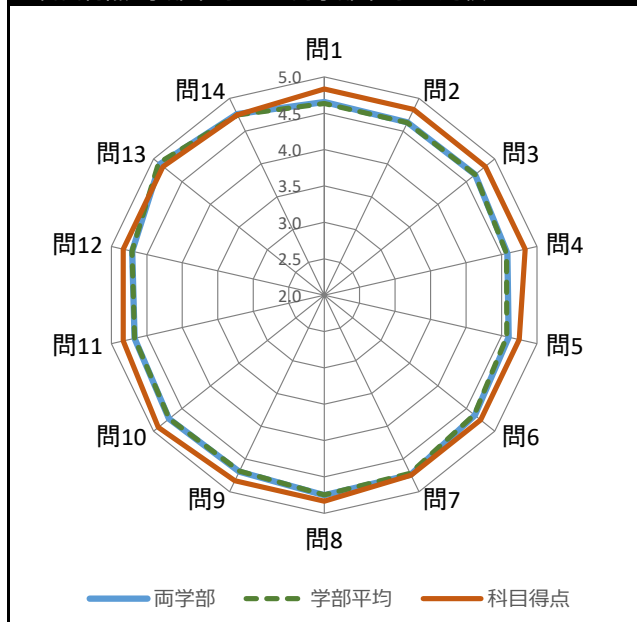
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0022]	履修者数	13	回答率	
教員名	鷹田 佳典		回答数	12	92.3%	92.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green]						4.83	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green]						4.83	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green]						4.83	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green]						4.83	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 9 blue, 3 green]						4.75	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 9 blue, 3 green]						4.75	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 9 blue, 3 green]						4.75	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green]						4.83	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green]						4.83	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 11 blue, 1 green]						4.92	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green]						4.83	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green]						4.83	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green]						4.83	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 9 blue, 3 green]						4.75	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.82	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

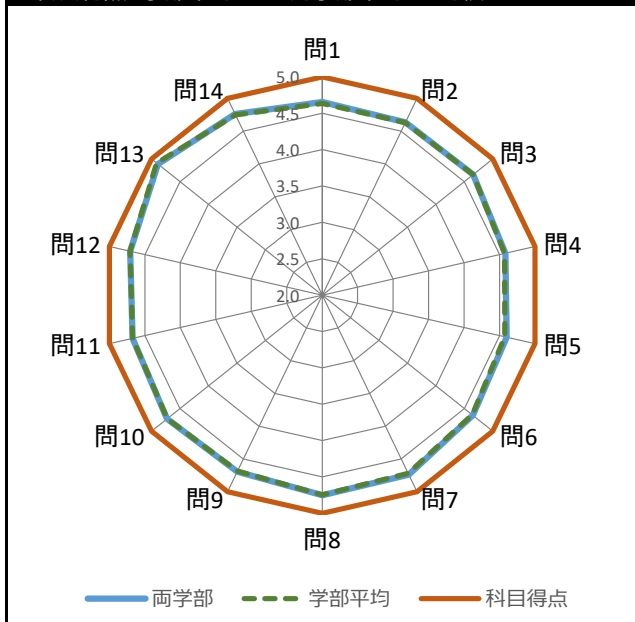
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0023]	履修者数	12	回答率		
教員名	白井 美穂		回答数	紙	12	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 100% response]						5.00	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 100% response]						5.00	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 100% response]						5.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 100% response]						5.00	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 100% response]						5.00	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 100% response]						5.00	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 100% response]						5.00	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 100% response]						5.00	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 100% response]						5.00	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 100% response]						5.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 100% response]						5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 100% response]						5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 100% response]						5.00	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 100% response]						5.00	4.75	4.76
問1~14全問平均								5.00	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

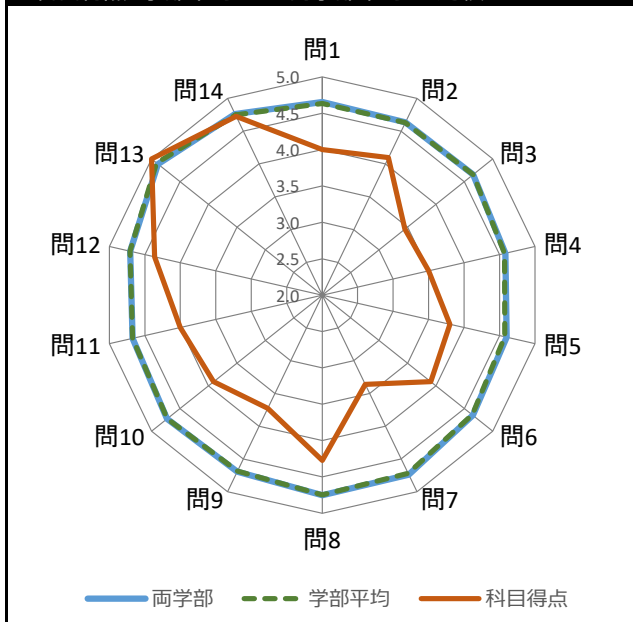
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0025]	履修者数	11	回答率		
教員名	渋谷 真樹		回答数	11	100.0%	100.0%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	11	100.0%	100.0%
				WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4	3	2	1	1		4.00	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4	4	1	1	1		4.10	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3	3	2	2	1		3.45	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	3	2	3	1	1	1	3.50	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3	5	1	1	1		3.80	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	3	6	1	1			3.91	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4	1	2	3	1		3.36	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5	5	1				4.27	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3	5	3				3.73	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	5	3	1	1	1		3.91	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5	3	1	2			4.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	6	4	1				4.36	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	11						5.00	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9						4.73	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.01	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

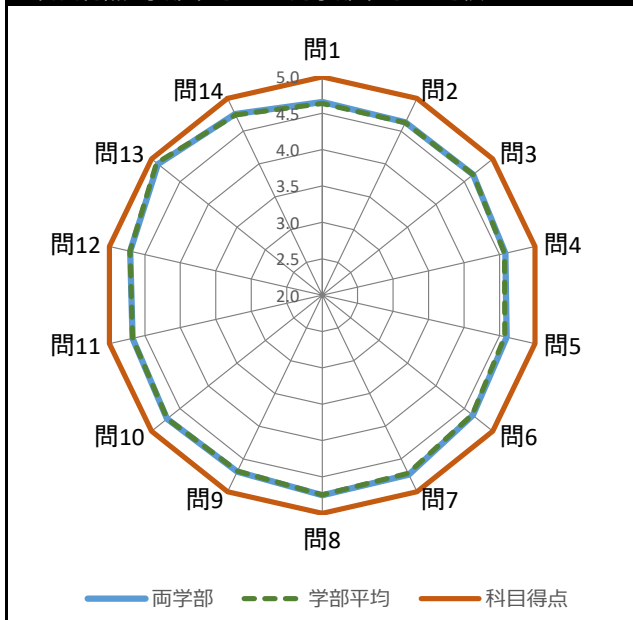
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0027]	履修者数	12	回答率	
教員名	有賀 早苗		回答数	紙 11	91.7%	91.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB 0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.75	4.76
問1~14全問平均								5.00	4.69	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

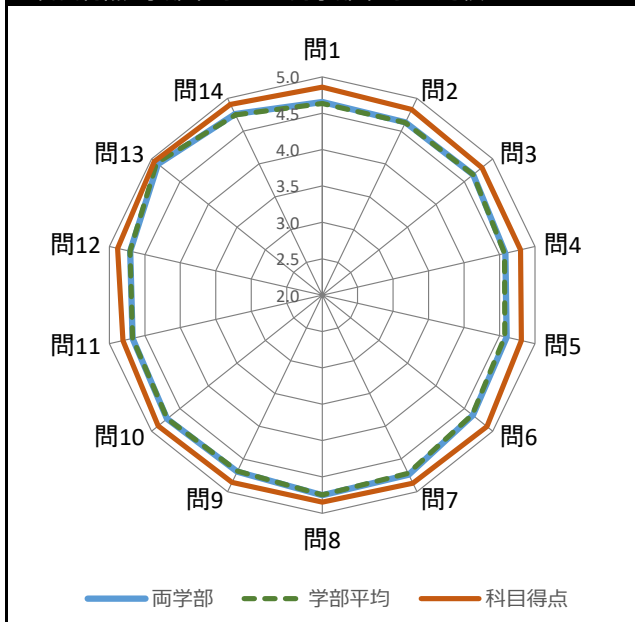
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	人体の構造と機能Ⅲ	[2H0030]	履修者数	89	回答率		
教員名	白井 美穂		回答紙	78	87.6%	87.6%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 67% blue, 11% green]							4.86	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 67% blue, 9% green]							4.83	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 68% blue, 8% green]							4.81	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 66% blue, 9% green]							4.79	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 68% blue, 6% green, 3% yellow]							4.81	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 70% blue, 8% green]							4.90	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 70% blue, 7% green]							4.87	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 67% blue, 10% green]							4.85	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 69% blue, 8% green]							4.86	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 71% blue, 6% green]							4.88	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 67% blue, 9% green]							4.81	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 69% blue, 9% green]							4.88	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 74% blue, 4% green]							4.95	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 72% blue, 5% green]							4.91	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.86	4.69	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

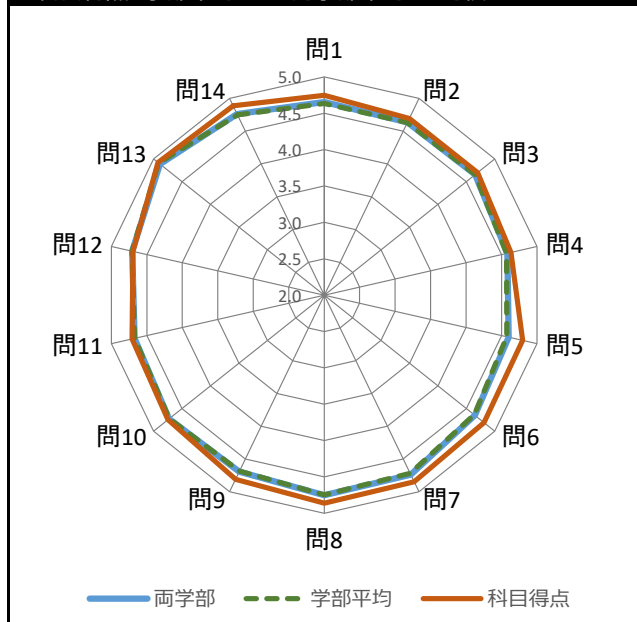
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 I	[2H0040]	履修者数	89	回答率	
教員名	白井 美穂		回答数	79	88.8%	88.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.75	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.70	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.70	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree', 19% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.63	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree', 10% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.80	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree', 10% 'Agree']						4.81	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree', 12% 'Agree']						4.85	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree', 11% 'Agree']						4.86	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree', 12% 'Agree']						4.81	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 4% 'Disagree']						4.75	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 17% 'Agree']						4.71	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree', 11% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.70	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 73% 'Strongly agree', 6% 'Agree']						4.92	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree', 9% 'Agree']						4.89	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.78	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

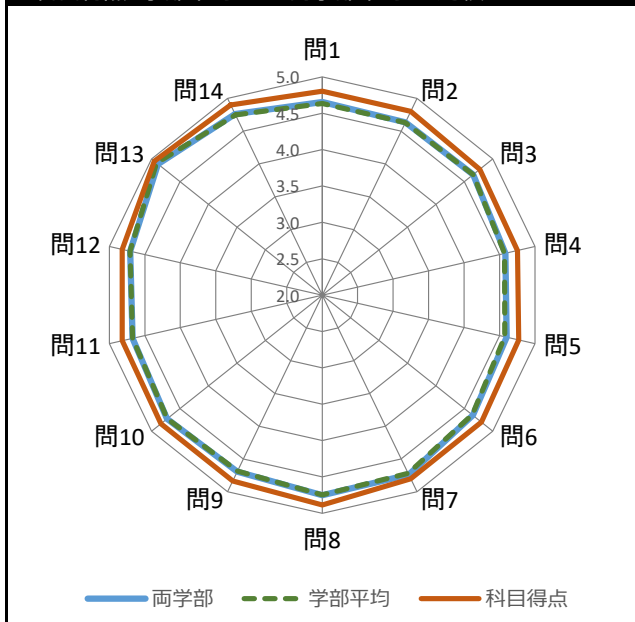
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ		[2H0070]	履修者数	87	回答率	
教員名	岡田 彩子			回答紙	61	70.1%	70.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	回答数	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 49 responses for '役に立った' and 12 for '役に立たなかった']						4.80	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 49 responses for '効果的だった' and 12 for '効果的ではなかった']						4.80	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 49 responses for '適切だった' and 10 for '適切ではなかった']						4.77	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 48 responses for 'わかりやすかった' and 12 for 'わかりやすくない']						4.75	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 48 responses for '興味のあるものだった' and 12 for '興味のないものだった']						4.77	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 49 responses for '価値があった' and 10 for '価値がなかった']						4.80	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 51 responses for '適切だった' and 9 for '適切ではなかった']						4.80	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 54 responses for '適切だった' and 7 for '適切ではなかった']						4.89	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 51 responses for '適切だった' and 10 for '適切ではなかった']						4.84	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 51 responses for '伝わってきた' and 10 for '伝わってこなかった']						4.84	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 50 responses for '適切だった' and 11 for '適切ではなかった']						4.82	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 51 responses for '適切に回答した' and 9 for '適切に回答しなかった']						4.82	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 58 responses for '出席率が高い' and 3 for '出席率が低い']						4.95	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 55 responses for '意欲的・積極的に取り組んだ' and 6 for '意欲的・積極的に取り組まなかった']						4.90	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.83	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

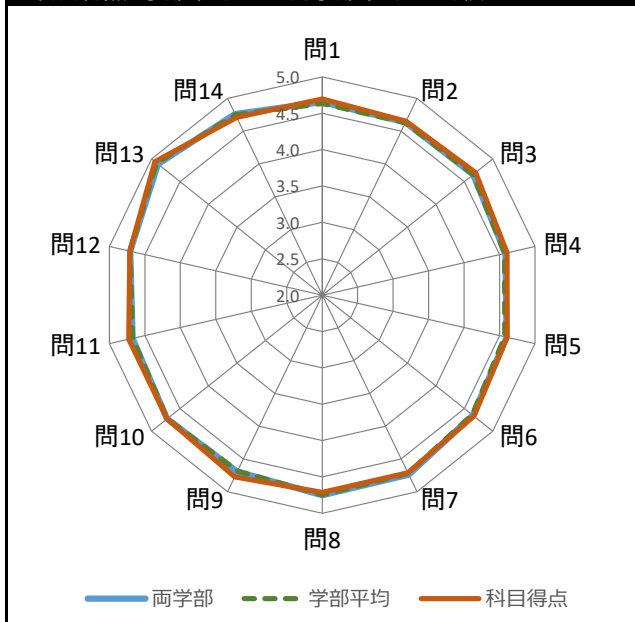
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ		[2H0080]	履修者数	87	回答率	
教員名	奥原 秀盛			回答紙	66	75.9%	75.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	回答数	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 47% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.70	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree' and 19% 'Agree']						4.65	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 47% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.70	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 43% 'Strongly agree' and 21% 'Agree']						4.61	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.61	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 48% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.67	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 51% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.71	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 50% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.71	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 51% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.77	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 50% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.73	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 50% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.73	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.71	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 4% 'Agree']						4.94	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 51% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.71	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.71	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

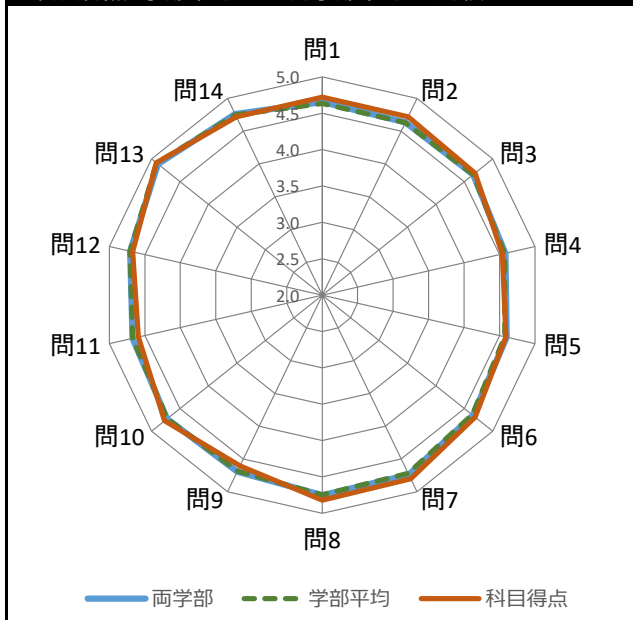
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	薬理学	[2H0100]	履修者数	85	回答率		
教員名	町田 充		回答紙	61	71.8%	71.8%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.72	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.72	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree', 13% for 'Agree', and 3% for 'Disagree']						4.69	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree', 15% for 'Agree', and 5% for 'Disagree']						4.54	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 41% for 'Strongly agree', 15% for 'Agree', and 5% for 'Disagree']						4.59	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree', 15% for 'Agree', and 2% for 'Disagree']						4.69	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.80	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 50% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.82	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree', 18% for 'Agree', and 3% for 'Disagree']						4.61	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']						4.77	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 42% for 'Strongly agree', 13% for 'Agree', and 6% for 'Disagree']						4.59	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree', 16% for 'Agree', and 2% for 'Disagree']						4.67	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 56% for 'Strongly agree' and 5% for 'Disagree']						4.92	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.72	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.70	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

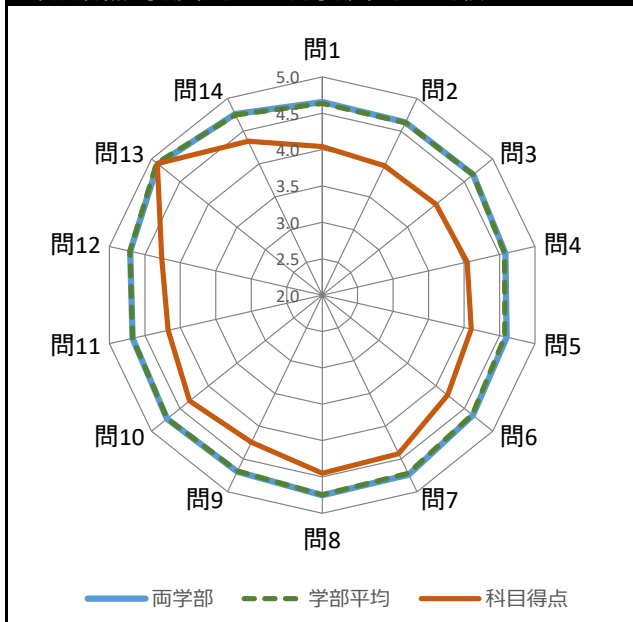
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	遺伝と遺伝カウンセリング	[2H0130]	履修者数	88	回答率		
教員名	渡邊 淳		回答紙	69	78.4%	78.4%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	16	41	11				4.04	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	15	40	11	3			3.97	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	17	40	7	5			4.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	18	38	11				4.04	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	21	35	12				4.10	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	23	37	9				4.20	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	34	30	5				4.42	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	35	30	4				4.45	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	28	33	6				4.25	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	28	36	5				4.33	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	26	32	8	3			4.17	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	28	33	6				4.26	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	63		5				4.90	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	29	35	5				4.35	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.25	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

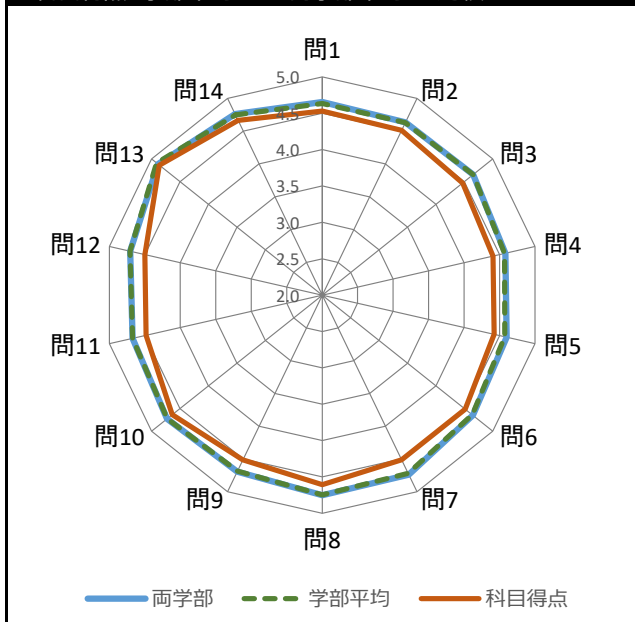
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	栄養学	[2H0140]	履修者数	88	回答率		
教員名	田中 明穂		回答紙	66	75.0%	75.0%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree' and 27% for 'Agree']						2	4.53	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						3	4.52	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree' and 25% for 'Agree']						3	4.47	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 31% for 'Strongly agree' and 31% for 'Agree']						4	4.41	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 32% for 'Strongly agree' and 30% for 'Agree']						4	4.42	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						3	4.52	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						3	4.52	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 42% for 'Strongly agree' and 22% for 'Agree']						2	4.61	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree' and 21% for 'Agree']						4	4.52	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree' and 20% for 'Agree']						2	4.64	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 38% for 'Strongly agree' and 22% for 'Agree']						6	4.48	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 39% for 'Strongly agree' and 22% for 'Agree']						4	4.50	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 58% for 'Strongly agree']						7	4.86	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 18% for 'Agree']						2	4.67	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.55	4.69	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

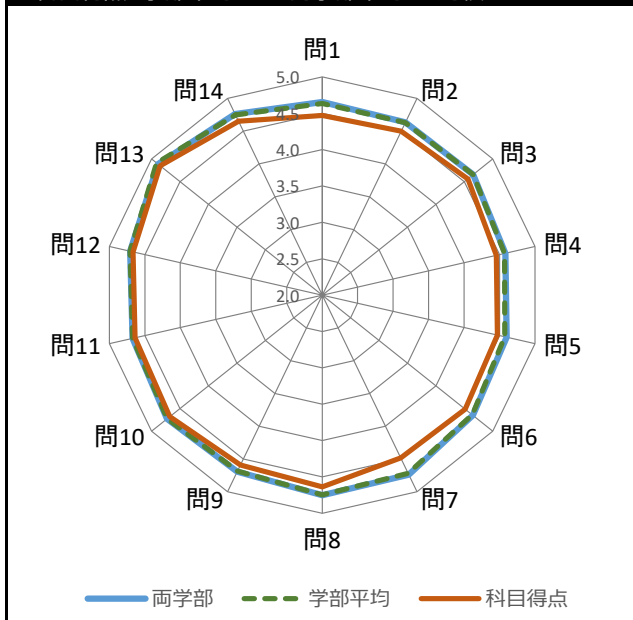
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学概論Ⅱ	[210020]	履修者数	87	回答率		
教員名	岡田 彩子		回答紙	66	75.9%	75.9%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			37		23	6	4.47	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			38		23	5	4.50	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。			40		23	3	4.56	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。			36		24	6	4.45	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。			37		24	4	4.47	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。			40		21	4	4.52	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			41		18	5	4.48	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。			43		22		4.64	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。			42		21	3	4.59	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。			46		19		4.68	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			44		20	2	4.64	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。			45		20		4.67	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。			57		8		4.85	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			47		16	2	4.65	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.58	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

< 質問別回答内訳と得点 >

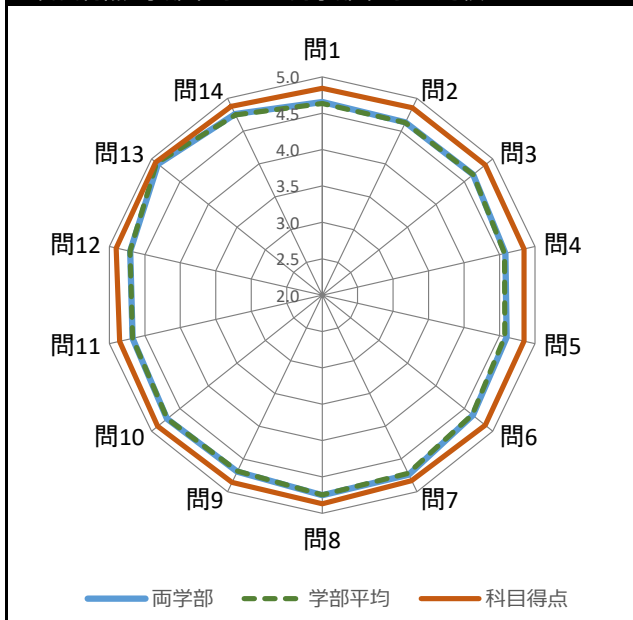
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護援助論Ⅱ(生命の維持)	[2K0020]	履修者数	89	回答率	
教員名	仁昌寺 貴子		回答数	84	94.4%	94.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 72% for '役に立った' and 9% for '役に立たなかった']						4.84	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 72% for '効果的だった' and 12% for '効果的ではなかった']						4.86	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 73% for '適切だった' and 11% for '適切ではなかった']						4.87	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 72% for 'わかりやすかった' and 11% for 'わかりやすくない']						4.85	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 72% for '興味のあるものだった' and 11% for '興味のないものだった']						4.85	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 74% for '価値があった' and 9% for '価値がなかった']						4.87	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 71% for '適切だった' and 12% for '適切ではなかった']						4.83	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 73% for '適切だった' and 11% for '適切ではなかった']						4.87	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 73% for '適切だった' and 10% for '適切ではなかった']						4.86	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 77% for '伝わってきた' and 6% for '伝わってこなかった']						4.89	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 74% for '適切だった' and 9% for '適切ではなかった']						4.86	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 76% for '適切に回答した' and 8% for '適切に回答しなかった']						4.90	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 79% for '出席率が高い' and 4% for '出席率が低い']						4.93	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 74% for '意欲的・積極的に取り組んだ' and 10% for '意欲的・積極的に取り組まなかった']						4.88	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.87	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

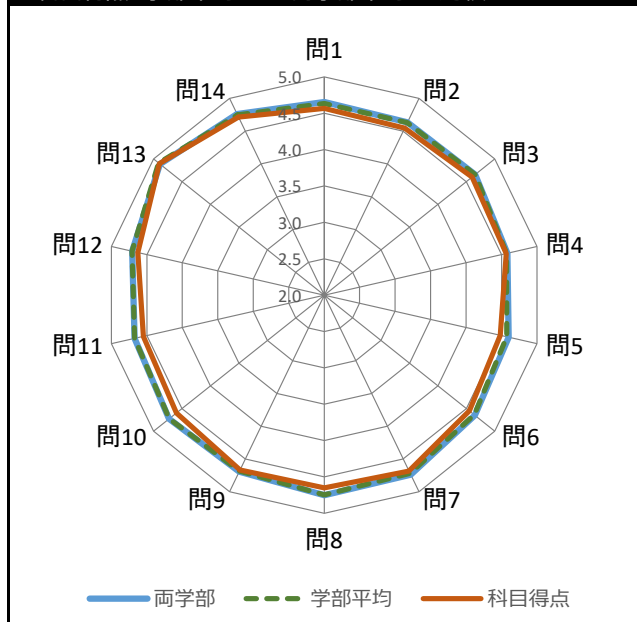
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護援助論VI (セクシュアリティ)	[2K0060]	履修者数	88	回答率		
教員名	喜多 里己		回答数	60	68.2%	68.2%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			37		21		4.57	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			36		21	3	4.55	4.63	4.64
3	教員の話方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。			38		20	2	4.60	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。			38		19	2	4.57	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。			36		20	2	4.48	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。			37		20	2	4.55	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			42		17		4.68	4.72	4.74
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。			40		19		4.65	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。			41		18		4.67	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。			39		19		4.60	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			37		19	4	4.55	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。			39		18	2	4.63	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。			55			4	4.90	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			45		13	2	4.72	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.62	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

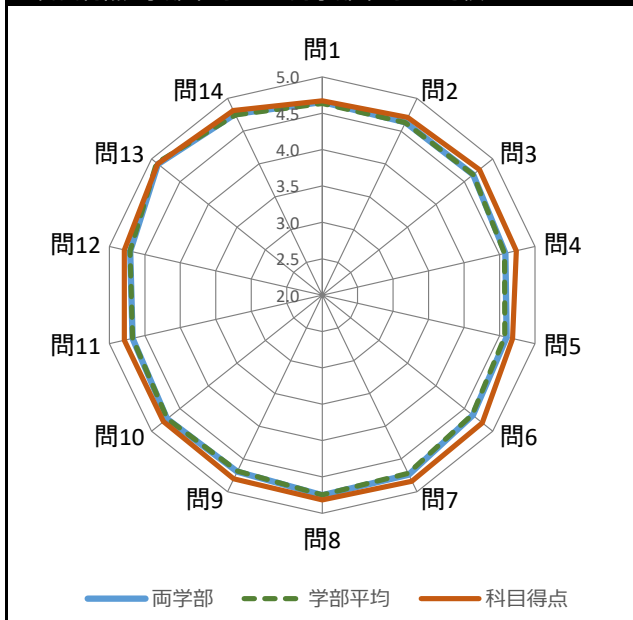
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	コミュニティ演習 [2L0030]	履修者数	85	回答率	
教員名	太田 喜久子	回答数	76	紙	89.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0.0%
				89.4%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 52% 'Strongly agree' and 23% 'Agree']						4.67	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.71	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.76	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree' and 20% 'Agree']						4.74	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree' and 19% 'Agree']						4.68	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.82	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.84	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.82	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.80	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.79	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.79	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.79	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree' and 8% 'Agree']						4.89	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.82	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.78	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

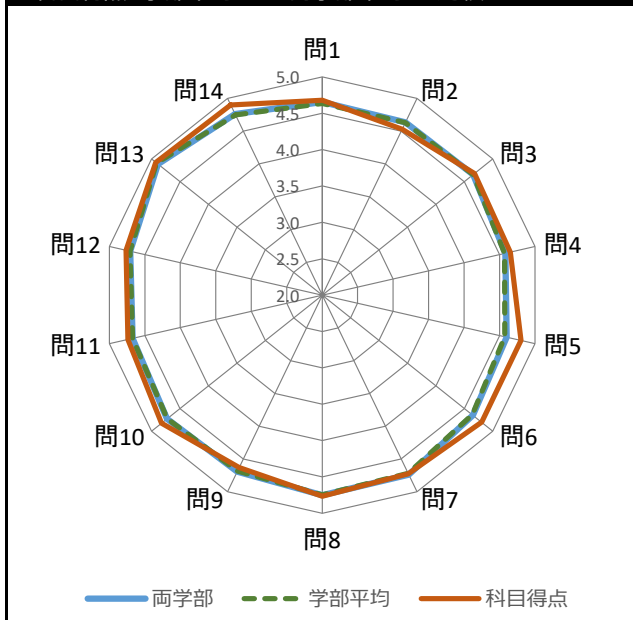
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	コミュニティケア I (地域看護学)		[2L0040]	履修者数	89	回答率	
教員名	成木 弘子			回答数	81	91.0%	91.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 60% '5', 16% '4', 5% '3']						4.68	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 57% '5', 13% '4', 8% '3', 3% '2']						4.53	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 62% '5', 15% '4', 2% '3']						4.68	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 61% '5', 14% '4', 4% '3']						4.65	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 67% '5', 12% '4']						4.80	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 68% '5', 10% '4', 3% '3']						4.80	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 64% '5', 14% '4', 2% '3']						4.73	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 66% '5', 12% '4', 2% '3']						4.77	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 62% '5', 11% '4', 6% '3', 2% '2']						4.63	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 71% '5', 7% '4', 2% '3']						4.83	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 66% '5', 11% '4', 3% '3', 2% '2']						4.74	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 65% '5', 13% '4', 3% '3', 2% '2']						4.77	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 76% '5', 4% '4', 2% '3']						4.93	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 74% '5', 6% '4', 2% '3']						4.90	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.75	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

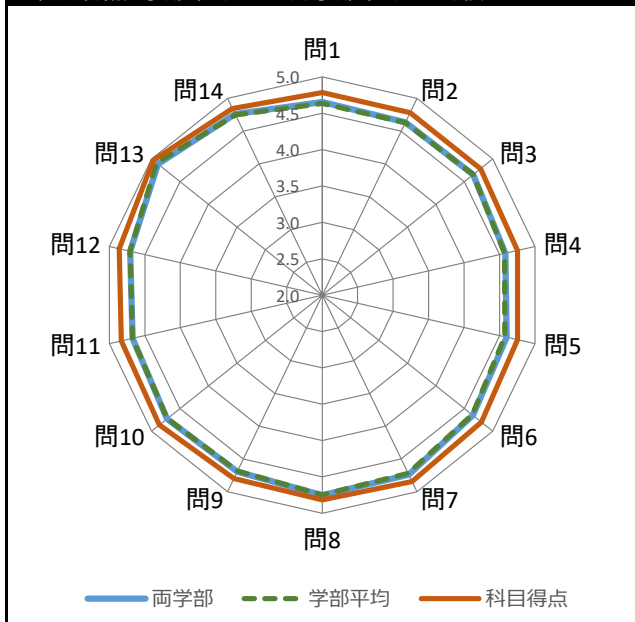
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	コミュニテイクアIV(公衆衛生看護活動論)	[2L0070]	履修者数	87	回答率		
教員名	藤川 あや		回答数	65	74.7%	74.7%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 52 responses for '役に立った' and 12 for '役に立たなかった']						4.78	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 52 responses for '効果的だった' and 12 for '効果的ではなかった']						4.78	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 52 responses for '適切だった' and 12 for '適切ではなかった']						4.78	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 51 responses for 'わかりやすかった' and 12 for 'わかりやすくない']						4.75	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 50 responses for '興味のあるもの' and 14 for '興味のないもの']						4.75	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 52 responses for '価値があった' and 13 for '価値がなかった']						4.80	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 56 responses for '適切だった' and 8 for '適切ではなかった']						4.85	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 54 responses for '適切だった' and 10 for '適切ではなかった']						4.82	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 53 responses for '適切だった' and 11 for '適切ではなかった']						4.80	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 56 responses for '伝わってきた' and 9 for '伝わってこなかった']						4.86	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 54 responses for '適切だった' and 11 for '適切ではなかった']						4.83	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 56 responses for '適切に回答した' and 9 for '適切に回答しなかった']						4.86	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 63 responses for '出席率が高い' and 2 for '出席率が低い']						4.97	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 57 responses for '意欲的・積極的に取り組んだ' and 6 for '意欲的・積極的に取り組まなかった']						4.85	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.82	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

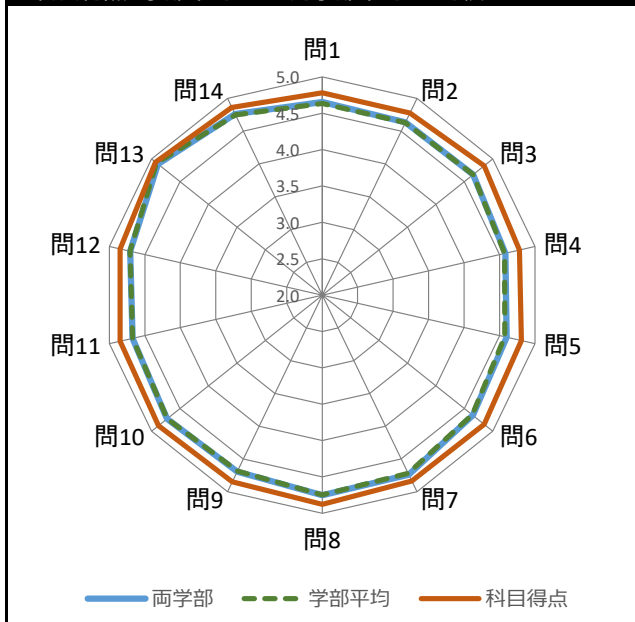
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	発達看護学 I ①		[2N0030]	履修者数	85	回答率	
教員名	喜多 里己			回答数	73	85.9%	85.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.78	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.78	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.85	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.78	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.81	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.85	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.84	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree' and 9% 'Agree']						4.88	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.85	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree' and 9% 'Agree']						4.88	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.85	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.85	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree' and 5% 'Agree']						4.93	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.86	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.84	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

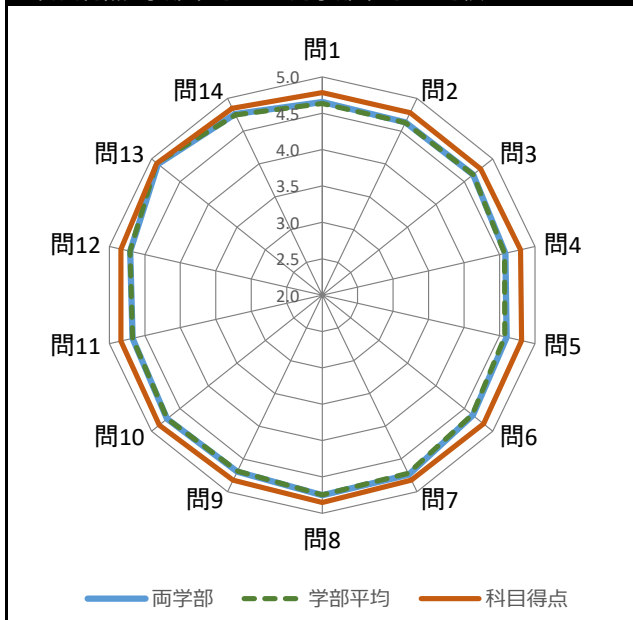
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)	[2N0050]	履修者数	87	回答率	
教員名	吉野 純		回答数	74	85.1%	85.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.78	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.78	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.78	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.80	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.81	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.84	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.82	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.85	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.82	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.86	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.84	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.84	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree' and 7% 'Agree']						4.91	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree' and 9% 'Agree']						4.85	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.83	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

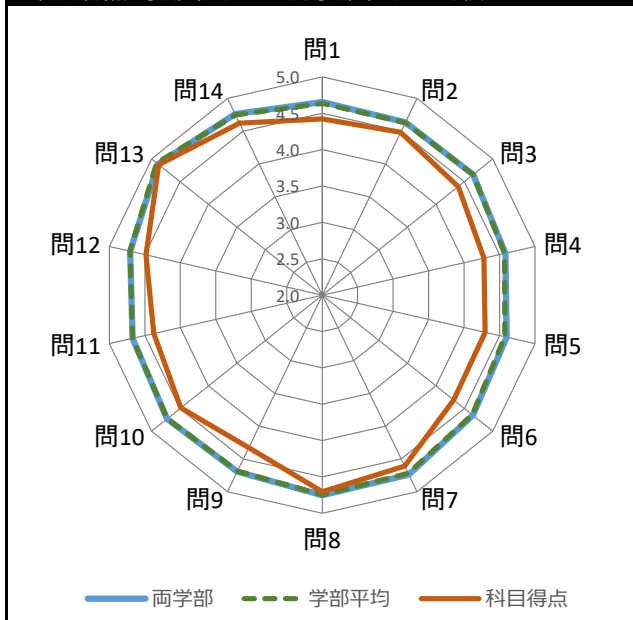
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)		[2N0070]	履修者数	86	回答率	
教員名	太田 喜久子			回答紙	64	74.4%	74.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	回答数	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			32	27	5		4.42	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			34	27	3		4.48	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。			34	21	9		4.39	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。			34	16	12	2	4.28	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。			32	20	11		4.30	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。			32	22	8	2	4.31	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			45	13	6		4.61	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。			49	11	4		4.70	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。			40	12	7	3	4.33	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。			41	16	5		4.48	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			40	14	5	4	4.38	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。			41	16	5		4.48	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。			57	6			4.88	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			46	12	6		4.63	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.48	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

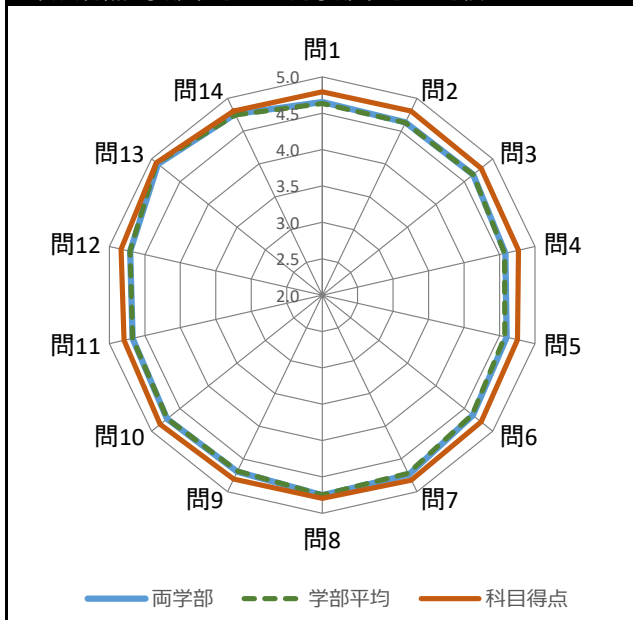
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	精神保健看護学 I (理論)		[200010]	履修者数	85	回答率	
教員名	小宮 敬子			回答数	73	85.9%	85.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.79	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.81	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.79	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.77	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.75	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.79	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.82	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.79	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.81	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.85	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.79	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.84	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree' and 6% 'Agree']						4.92	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.81	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.81	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

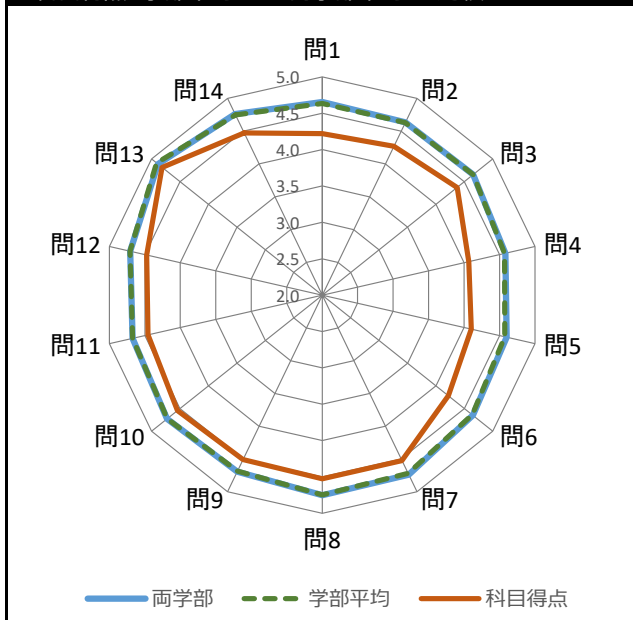
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護管理学		[2Q0010]	履修者数	88	回答率	
教員名	大和田 恭子			回答数	59	67.0%	67.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。		21	30	8			4.22	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。		22	31	6			4.27	4.63	4.64
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。		26	29	4			4.37	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。		20	25	12	2		4.07	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。		22	25	8	4		4.10	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。		22	29	7			4.22	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。		34	22	3			4.53	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。		34	22	3			4.53	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。		33	23	3			4.51	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。		35	21	3			4.54	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。		32	22	5			4.46	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。		33	21	5			4.47	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。		50	7	2			4.81	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。		33	21	5			4.47	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.40	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
(Blue)	5	強く思う
(Green)	4	そう思う
(Yellow)	3	どちらともいえない
(Orange)	2	そうは思わない
(Red)	1	全くそうは思わない
(Grey)	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

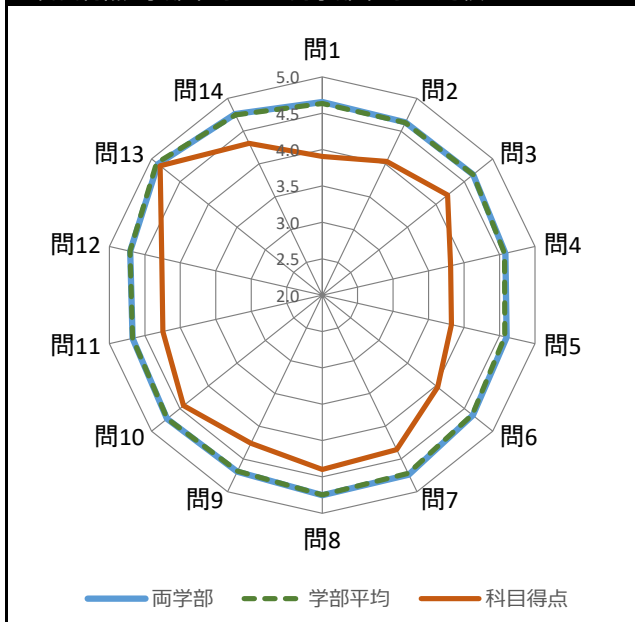
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護教育学	[2Q0020]	履修者数	88	回答率	
教員名	岡田 彩子		回答紙	73	83.0%	83.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	20	35	10	7			3.90	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	23	35	10	5			4.04	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	26	40	4				4.21	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	21	27	15	10			3.81	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	21	29	13	9			3.82	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	21	38	10	3			4.03	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	35	32	3	3			4.36	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	34	35	3				4.40	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	30	35	5	3			4.26	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	38	30	4				4.44	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	33	28	9	3			4.25	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	33	29	8	3			4.26	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	62	11					4.85	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	33	32	6				4.32	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.21	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

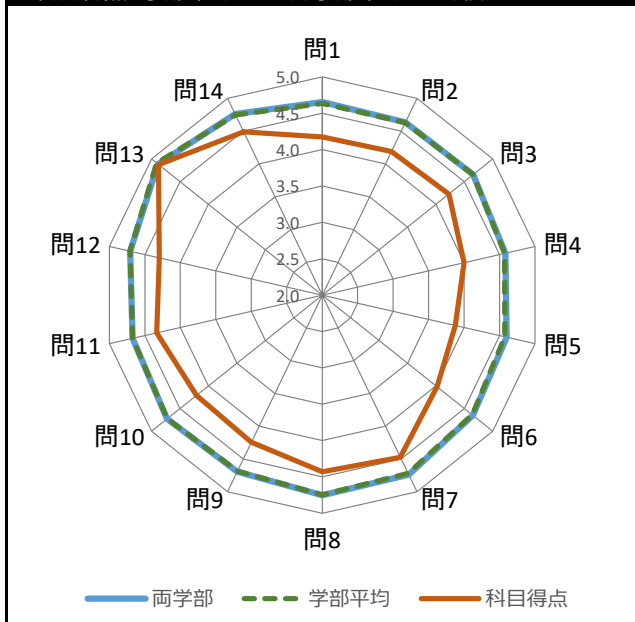
<質問別回答内訳と得点>
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは
 科目得点 ≤ 3.5

科目名	研究方法論Ⅱ	[2S0020]	履修者数	88	回答率	
教員名	吉野 純		回答数	57	64.8%	64.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	19	31	5	2			4.18	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	19	31	6				4.19	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	19	34	2	2			4.23	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	16	29	8	4			4.00	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	16	25	10	5			3.88	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	16	30	7	4			4.02	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	28	28					4.47	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	25	30					4.43	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	23	27	5	2			4.25	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	21	30	3	3			4.21	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	26	26	3	2			4.33	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	25	25	6				4.30	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	50	7					4.88	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	31	23	3				4.49	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.27	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

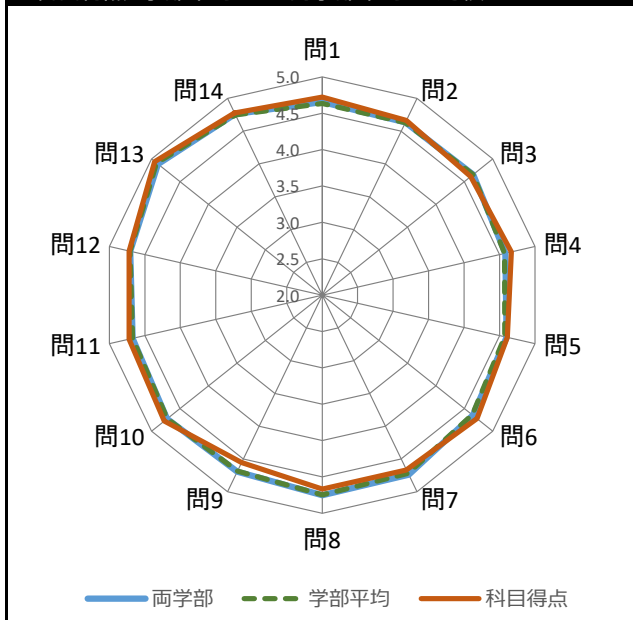
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	公衆衛生看護方法論	[2T0030]	履修者数	20	回答率	
教員名	永井 健太		回答数	18	90.0%	90.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 13 'Strongly agree' and 5 'Agree']						4.72	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 12 'Strongly agree' and 6 'Agree']						4.67	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree' and 7 'Agree']						4.61	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 13 'Strongly agree', 4 'Agree', 1 'Disagree']						4.67	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 12 'Strongly agree', 5 'Agree', 1 'Disagree']						4.61	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 13 'Strongly agree' and 5 'Agree']						4.72	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 12 'Strongly agree' and 6 'Agree']						4.67	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 12 'Strongly agree' and 6 'Agree']						4.67	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree', 6 'Agree', 1 'Disagree']						4.56	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 14 'Strongly agree' and 4 'Agree']						4.78	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 14 'Strongly agree', 3 'Agree', 1 'Disagree']						4.72	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 14 'Strongly agree', 3 'Agree', 1 'Disagree']						4.72	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 17 'Strongly agree' and 1 'Disagree']						4.94	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 15 'Strongly agree', 2 'Agree', 1 'Disagree']						4.78	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.70	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

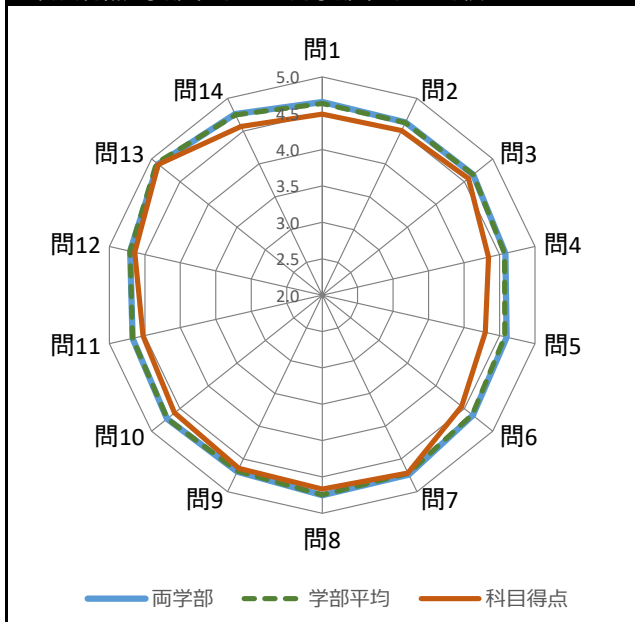
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	情報学概論	[2E0010]	履修者数	87	回答率	
教員名	鷹田 佳典		回答数	84	96.6%	96.6%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	紙	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked bar chart showing 47% for 'Strongly agree', 31% for 'Agree', 6% for 'Disagree']						4.49	4.63	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked bar chart showing 49% for 'Strongly agree', 31% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.51	4.63	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked bar chart showing 53% for 'Strongly agree', 26% for 'Agree', 5% for 'Disagree']						4.57	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked bar chart showing 47% for 'Strongly agree', 23% for 'Agree', 11% for 'Disagree']						4.35	4.57	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked bar chart showing 42% for 'Strongly agree', 29% for 'Agree', 10% for 'Disagree']						4.30	4.57	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked bar chart showing 46% for 'Strongly agree', 31% for 'Agree', 6% for 'Disagree']						4.45	4.64	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked bar chart showing 63% for 'Strongly agree', 18% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.71	4.72	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked bar chart showing 59% for 'Strongly agree', 22% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.67	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked bar chart showing 59% for 'Strongly agree', 21% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.64	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked bar chart showing 56% for 'Strongly agree', 24% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.60	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked bar chart showing 51% for 'Strongly agree', 28% for 'Agree', 4% for 'Disagree']						4.52	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked bar chart showing 56% for 'Strongly agree', 26% for 'Agree']						4.64	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked bar chart showing 74% for 'Strongly agree', 10% for 'Agree']						4.88	4.91	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked bar chart showing 50% for 'Strongly agree', 32% for 'Agree']						4.57	4.75	4.76
問1~14全問平均								4.56	4.69	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
2B0010	生命倫理	田村未希	難しい内容だったと思うのですが、熱心に取り組んでくださった学生さん達に感謝しています。講義内容をより身近な問題として感じてもらえるように工夫をしていきたいと考えております。
2B0020	哲学と倫理	田村未希	学生の皆さんと共にじっくりと学ぶことができて幸いでした。少人数なので、一人一人と十分にコミュニケーションを取る機会があったのが良かったです。
2B0050	教育学概論	渋谷真樹	肯定的な評価をありがとうございます。 おひとり、「授業の内容はわかりやすかった」に「どちらともいえない」と回答した方がいたようです。どのような点が理解しづらかったのか、アンケートだけではわかりませんが、資料を増やしたり、口頭での解説を工夫したりして、善処していきたいと思います。
2B0070	身体運動理論	白井美穂	良い意見・評価をありがとうございました。 「学んだだけでなくそれを実践できるものが多かった」とのこと、今後もそのような内容を入れた授業にしていきたいと思います。
2C0010	社会学概論	鷹田佳典	授業では、単に社会学の概念についての解説を行うのではなく、なるべく自分の社会生活と結び付けて考えられるよう、身近な例を挙げながら説明を行いました。その際、アニメを話題に出すことが多くありましたが、そのアニメを観ていない学生もかなりいたようで、そうした学生にとってはかえって分かりづらい説明になってしまったようでした。次年度はアニメなどの例を取り上げる場合は、もう少し内容を詳しく紹介するなど、観ていない人にも伝わるような工夫をしたいと思います。
2C0020	臨床社会学	鷹田佳典	ディスカッションがよかったというコメントをもらいました。臨床社会学では、受講者が比較的少人数ということもあり、一方的な講義ではなく、なるべく受講者間でディスカッションをしてもらい、さまざまな社会的事象について多様な見方があることを知ってもらえるようにしています。今後もなるべくディスカッションの時間を設けられるよう工夫をしていきたいと思います。
2C0040	日本国憲法	川口かしみ	「1 授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。」「2 授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。」「10 教員の熱意が伝わってきた。」などについてはそれなりによい回答が見られてよかったですと思います。それらに対して、「4 授業の内容はわかりやすかった。」「5 授業の内容は興味のあるものだった。」「6 この授業は自分にとって価値があった。」の質問内容に対する「5 強くそう思う」という回答が55人の解答中30人を満たしていないので、それらに対しては、さらなる授業の工夫が必要だったと反省しています。このアンケートを対象にした授業が、日本赤十字看護大学さいたま看護学部で行う最後の授業になりましたが、今後、もし再度、日本赤十字看護大学さいたま看護学部において非常勤講師として授業を担当させていただくことがありましたら、この反省点を踏まえてよりよい授業を学生に提供できるよう、現在から日々努力していきたいと思います。
2C0050	生活環境論	永井健太	私たちの生活とその環境が健康に及ぼす影響について、ひとり一人が関心を持って授業に参加して下さったことがとても嬉しいです。さらに、地区踏査ではグループメンバーと協力し合って取り組む姿がとても印象的でした。これからも皆さんに関心を持ってもらえるように、大切なポイントについて示し、地区踏査については、意欲的に取り組めるよう説明を具体的に行い、資料等はGlexにアップするように努めます。
2D0010	数学	松原和樹	授業に対して積極的に取り組む学生が多く、問題演習の時間においては、グループで相談しながら理解しようとする姿が毎回見られました。担当教員として、非常に楽しく授業を実施することができました。ありがとうございました。
2E0010	情報学概論	鷹田佳典	リアクションペーパーの締め切りが早いとのコメントをもらいました。なるべく授業内容についての記憶が新しいうちにリアクションペーパーを書いてもらえればという思いもあり、授業実施当日に締め切りを設定していますが、じっくり時間をかけてリアクションペーパーを書きたいという人もいます。次年度以降は受講者の意見も踏まえて、締め切りを設定したいと思います。

2F0010	日本語の表現	越後敬子	日本語の表現といっても幅広いので、できるだけ今後の大学生生活に即した内容の課題を選びたいと思っていますが、学生さんも目的意識を持って取り組んでくれたように思います。今後も内容についてはブラッシュアップしていきたいと思っています。
2F0031	英語RWⅡ	川崎修一	過分な評価をありがとうございます。いただいた意見は授業改善に活かします。
2F0032	英語RWⅡ	遠藤花子	アンケートから、授業に対する興味、板書の分かりやすさなどに若干の課題を感じましたが、概ね良好な回答をありがとうございました。これからも頑張ってください。
2F0080	中国語Ⅱ	王 牧	アンケートの集計結果とご意見について、担当教員からコメントを述べさせていただきます。 まず、本授業の回答率は100.0%(履修者7名全員)であり、クラスの総意を反映していると考えられますが、得点としては全14問が学部平均を上回るという評価となりました。専門科目の学習が忙しくなる中で、「中国語Ⅱ」を選択して下さった学生からこのような回答をいただけたことは、非常に嬉しい限りです。 しかし、秋学期の授業履修者数が春学期より大幅に減少したことについて、教員として非常に残念に感じております。心からお詫びを申し上げます。今後も学生の皆さんがより一層成長できる授業を提供するために、さらなる改善に努めてまいります。学生の皆さんの学びを最大限に引き出し、成果を上げていただけるよう、より魅力的な教育内容の提供に全力を尽くしてまいります。 最後に、「中国語Ⅱ」の授業が円滑に進むよう、毎週ご協力いただき、熱心に取り組んで下さったことに心より感謝申し上げます。また、皆さんの積極的な参加や貴重なご意見にも、深く感謝申し上げます。
2F0100	韓国語Ⅱ	高 昌弘	【授業で良いと思った点】 ・先生の世間話も聞けて良かったです。 ・発音やハングルの仕組みまで初歩から教えて頂けたので韓国語の勉強をはじめやすかったです。これからも頑張って勉強して話せるようになります！ 【授業で改善した方が良いと思う点】 ・なし (高) 皆さん一年間、スゴハショッスムニダ(お疲れ様でした)。 授業では韓国語のことだけではなく、韓国の文化など、韓国について色々お話しさせていただいたのですが、皆さんの反応も良く、興味深く聞いてくれる学生が多かったのも嬉しかったです。全く韓国語がわからなかった皆さんがすらすら韓国語が読めるようになった姿を見て非常に教え甲斐を感じました。とても嬉しかったです。 残念ながら韓国語Ⅰ・Ⅱの上の授業はありません。でも、語学の勉強って教科書以外にも学べる教材がたくさんあるのです。せっかく1年間頑張って韓国語を勉強したので、これからは韓国ドラマやK-POPなど、生の教材を活用し、韓国語の勉強を続けてほしいです。それからハングル能力検定試験やTOPIKにもぜひチャレンジしてみてください。 赤十字看護大学の皆さん、チェゴ(最高)！ カムサハムニダ！
2G0021	基礎ゼミⅡ	遠藤公久	高い評価をいただきましたが、このゼミについては、その目的、方法などについてもう少し改良すべき点があると考えています。 その点を踏まえて、次年度の授業に活かしていきたいと思っています。 ありがとうございました。
2G0022	基礎ゼミⅡ	鷹田佳典	2023年度の基礎ゼミⅡでは、受講生が自ら問いを設定し、資料作成や自由なディスカッションを通じて、ジェンダーについての理解を深めることを重視しましたが、その点が評価してもらえたようでよかったです。
2G0023	基礎ゼミⅡ	白井美穂	良い意見・評価をありがとうございます。 「みんなの意見が反映され、楽しく集中して授業を行えた」とのこと、これからは皆さんの要望を取り入れ、充実した内容にしていきたいと思っています。

2G0025	基礎ゼミⅡ	渋谷真樹	ディスカッションについては肯定的な評価でしたが、多くの項目で、学部平均点を下回ってしまいました。特に、「授業の内容はわかりやすかった」の得点が低いので、次年度は授業の目的や方法をよりよく説明し、各授業では受講生の理解を確認しながら進めていきます。「教員の話し方は適切だった」については、他の授業で否定的な回答だったことはあまりないので、ゼミ形式の座席配置や授業の進め方が影響したかもしれません。授業時間を正確にし、より受講生の関心をひく工夫をしていきます。
2G0027	基礎ゼミⅡ	有賀早苗	設定したテーマに興味関心を抱いた学生が履修してくれたので、解説・問題提起を熱心に聴いて大変有意義な議論を円滑に行うことが出来ました。自身の将来を見据えた意見表明・討論を通じて履修学生同士の絆もしっかり形成されたことを嬉しく思います。教員も学ばせていただき、充実したゼミでした。
2H0030	人体の構造と機能Ⅲ	白井美穂	貴重なご意見・評価をありがとうございます。 授業内容については、みなさん、良い評価を頂き、ありがとうございました。ただ、小テストでは皆さん個人に自己採点してもらっていましたが、「点数を高くして提出している人がいる」といった意見も頂きましたので、公平性が保てるような評価法に変更していきます。
2H0040	疾病の回復と促進Ⅰ	白井美穂	貴重な意見・評価をありがとうございます。 おおむね興味を持って授業を受けて頂けたようですが、先生によってばらつきや分かりにくい点があったとのことで、今後検討し、改善できるところはしていきたいと思ひます。
2H0080	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ	奥原秀盛	アンケートへのご協力、有難うございました。 概ね良好な評価を得て、嬉しく思います。非常勤の先生方にも本評価をフィードバックして、次年度も継続して頂くようお願いしたいと思ひます。
2H0110	薬理学	町田 充	質問16に、8コマでは、キツイとあります。確かに、教科書のボリュームから8コマは、学生さんには負担と理解します。コマ数を検討してもいいのかもしれませんが、この質問は以前もあり、また講師からも時間が足りないとの意見も聞いています。 これを機に、見直す機会になれば幸いです。
2H0140	栄養学	田中明穂	話すスピードが速いとの感想をいただきました。 半期8回で話しきれない内容ではなく、過去2年間悩んでおります。 国家試験と教科書には載っていないが現場で必要な事、どこに重点を置くべきか、どこを省略すべきか。 栄養学が本流ではない看護学生に少しでも興味を持てるような内容をゆっくり話し進めたいと思ひます。
2K0020	看護援助論Ⅱ	仁昌寺貴子	授業評価アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケートの結果では、概ね高評価を得ておりますが、「私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ」の得点が高く、自由記述のコメントでは、「グループワークがよかった」という記載がありました。これらの結果から、みなさんが積極的に授業・グループワークに参加でき、みなさんにとって実りのある授業になったと思っています。今後もグループワークに積極的に取り組める工夫を検討し、授業内容を洗練したいと思ひます。
2K0060	看護援助論Ⅵ（セクシュアリティ）	喜多里己	アンケートへのご協力ありがとうございます。 貴重な意見をありがとうございました。セクシュアリティは価値観が反映し、センシティブな内容が含まれます。学生の皆さんと一緒に考えてられるよう、授業を進めていきたいと思ひます。
2L0030	コミュニティ演習	太田喜久子 住谷ゆかり	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。 この演習を通して「さいたま看護学部らしさ」を感じられたというご意見に教員一同とてもうれしく思っております。 皆さんよりいただいたご意見を参考に、今後もよりよい演習となるよう取り組んでまいります。
2L0040	コミュニティケアⅠ（地域看護学）	成木弘子 藤川あや	貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。授業資料のポイントを絞り、皆さんにとって分かりやすく、知的好奇心を高められる講義を行っていきたく思ひます。
2L0070	コミュニティケアⅣ（公衆衛生看護活動論）	藤川あや	貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。今後も皆さんの公衆衛生看護活動への理解が深まるような講義を行っております。

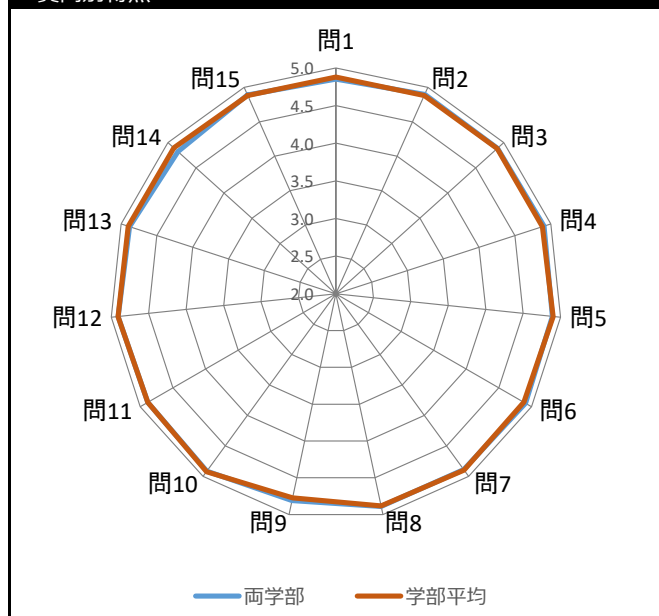
2N0030	発達看護学Ⅰ①	喜多里己	アンケートへのご協力ありがとうございました。 TBLについて高評価をありがとうございます。今後は事例学修ノートにも力を入れ、講義と事例学修で学びがより深まるよう工夫していきたいと思います。
2N0050	発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護①）	吉野 純	ご意見ありがとうございました。GWで学びが深められてよかったと思います。今後も皆さんの学びにつながるように適宜GWも取り入れて授業を行っていききたいと思います。課題の提出方法ですが、授業への出席確認を兼ねているものについては授業開始時間前に教室提出としていますが、それ以外の課題についてはGlexa提出も考慮していきたいと思います。
2N0070	発達看護学Ⅲ（老年期の看護①）	太田喜久子 住谷ゆかり	授業に関するご意見をありがとうございました。 講義や事例検討の個人・グループワークに積極的に取り組みながら、皆さんが学びを深めていけたようで良かったです。 一方で、GWの方法など授業方法に関しても率直なご意見をいただきました。皆さんからいただいたご意見は、今後の授業の洗練に活かしていきたいと思っております。 授業を通して得た学びを、今後の実践につなげていってください。
2O0010	精神保健看護学Ⅰ（理論）	小宮敬子 松本佳子	授業に関して、コメントをよせていただきまして、ありがとうございます。いただいたコメントに基づきまして、来年度からの授業運営に反映させていきたいと思っております。リアクションペーパーの配布は事前にしてほしいというご意見がありましたが、リアクションペーパーについては、授業を最後まで聞いた直後、授業全体を振り返り、皆さんお一人お一人が自分の考えをまとめることで、さらに学びを深めて欲しいという意図がありますので、授業最後の配布になることを、ご承知下さい。ご指摘いただいたように、リアクションペーパーを書くための時間を十分に確保していきたいと思います。
2Q0010	看護管理学	大和田恭子	看護管理学は学生の皆さんにとってはなかなか馴染みがないかもしれません。実習を重ね、さらに実践を積んでいくにつれてその身近さ、大切さに気づいていくものと思います。その時に、今回の授業で見聞きしたことを少しでも思い起こしてくれるとうれしいです。
2S0020	研究方法論Ⅱ	吉野 純	ご意見ありがとうございます。複数の教員が関わる授業ですので、教員間の連携や指導内容の共有が重要であることを改めて認識しました。 また、本科目の最終レポートは研究計画書ですが、研究計画を立てるにあたり研究について理解することが必要不可欠です。そのことに基づき授業内容を組み立てています。到達目標にもそのことが記載されていますが、そのつながりについて説明が不十分でした。改善したいと思います。
2T0030	公衆衛生看護方法論	永井健太	公衆衛生看護活動の基盤となる援助技術や活動方法について関心を持って意欲的に授業に参加して下さったことがとても嬉しかったです。 引き続き授業資料や教授方法を検討し、皆さんの学習意欲が高まるよう進めていきたいと思えます。授業中に分からないことなどあればぜひ質問してください。公衆衛生看護について一緒に学びを深めていきましょう。

学部名	さいたま看護学部		履修者数	340	回答率	
			紙	323	95%	95%
			WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 284 responses for '役に立った' and 39 for '役に立たなかった']						4.88	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 286 responses for '適切だった' and 35 for '適切ではなかった']						4.89	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 290 responses for '適切だった' and 30 for '適切ではなかった']						4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 287 responses for '適切だった' and 32 for '適切ではなかった']						4.88	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 293 responses for '興味をもち、深く学びたい' and 28 for '興味をもち、深く学びたいと感じることができなかった']						4.90	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 288 responses for '実践的なレベルで学ぶことができた' and 33 for '実践的なレベルで学ぶことができなかった']						4.88	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 290 responses for '適切だった' and 33 for '適切ではなかった']						4.90	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 288 responses for '適切だった' and 33 for '適切ではなかった']						4.88	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 269 responses for '適切だった' and 43 for '適切ではなかった']						4.77	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 298 responses for '熱意が伝わってきた' and 23 for '熱意が伝わってこなかった']						4.92	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 289 responses for '理解や反応を見ながら進め、質問しやすい' and 31 for '理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況がなかった']						4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 294 responses for '適切に回答した' and 26 for '適切に回答しなかった']						4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 293 responses for '事前学習をして臨んだ' and 27 for '事前学習をして臨んでいない']						4.90	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 289 responses for '授業後に演習内容を復習した' and 33 for '授業後に演習内容を復習しなかった']						4.90	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 287 responses for '技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった' and 33 for '技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになったことができなかった']						4.88	4.89
問1～15全問平均								4.88	4.88

■ 質問別得点



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[White]	-	無回答／不明

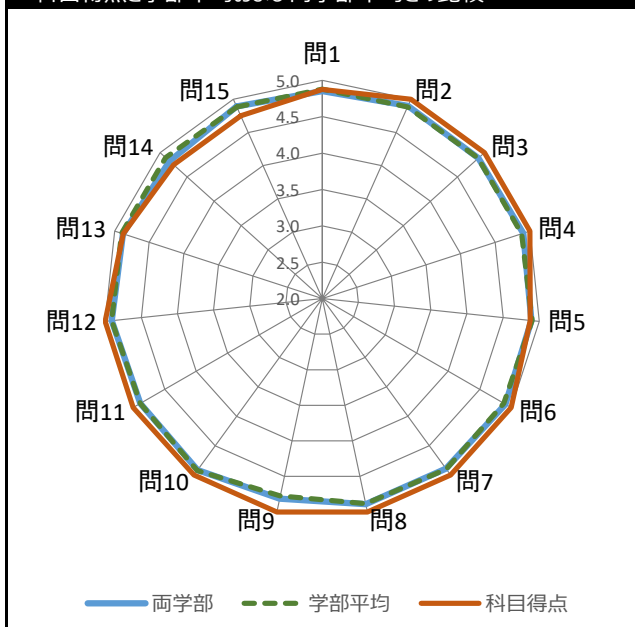
<質問別回答内訳>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

科目名	臨床心理学	[2B0040]	履修者数	9	回答率	
教員名	遠藤 公久		回答数	紙 8	88.9%	88.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB 0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 7 responses for 'Yes' and 1 for 'No']						4.88	4.88	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 8 responses for 'Yes']						5.00	4.89	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 8 responses for 'Yes']						5.00	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 8 responses for 'Yes']						5.00	4.88	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 7 responses for 'Yes' and 1 for 'No']						4.88	4.90	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 8 responses for 'Yes']						5.00	4.88	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 8 responses for 'Yes']						5.00	4.90	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 8 responses for 'Yes']						5.00	4.88	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 8 responses for 'Yes']						5.00	4.77	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 8 responses for 'Yes']						5.00	4.92	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 8 responses for 'Yes']						5.00	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 8 responses for 'Yes']						5.00	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 7 responses for 'Yes' and 1 for 'No']						4.88	4.90	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 6 responses for 'Yes' and 2 for 'No']						4.75	4.90	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 6 responses for 'Yes' and 2 for 'No']						4.75	4.88	4.89
問1～15全問平均								4.94	4.88	4.88

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

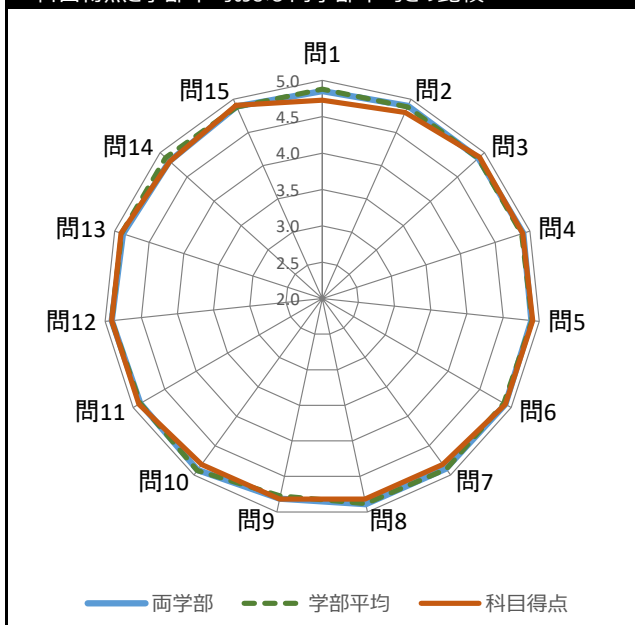
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	基礎ゼミⅡ		[2G0024]	履修者数	11	回答率	
教員名	角田 敦彦			回答紙	11	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	回答数	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]							4.73	4.88	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green, 1 white]							4.80	4.89	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]							4.91	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart: 9 blue, 1 green, 1 white]							4.90	4.88	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]							4.91	4.90	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]							4.91	4.88	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]							4.82	4.90	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]							4.82	4.88	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]							4.82	4.77	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]							4.82	4.92	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]							4.91	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]							4.91	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]							4.91	4.90	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]							4.82	4.90	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]							4.91	4.88	4.89
問1～15全問平均								4.86	4.88	4.88	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答／不明

< 質問別回答内訳と得点 >

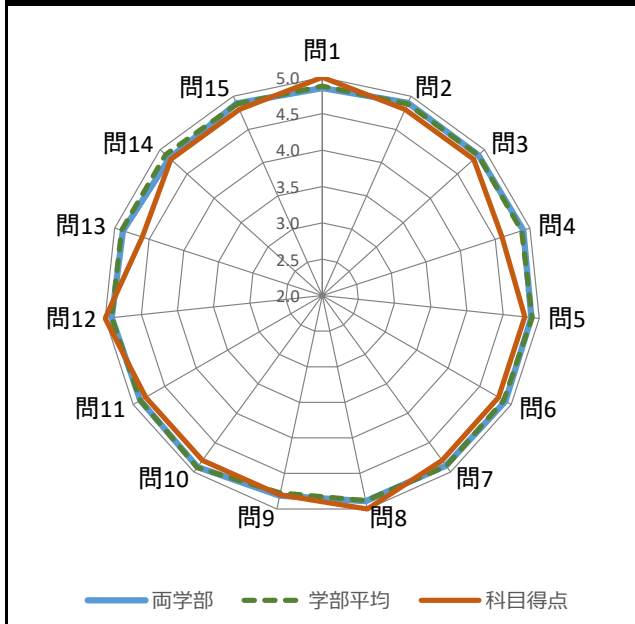
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	基礎ゼミⅡ		[2G0026]	履修者数	5	回答率	
教員名	逸見 功			回答数	紙	5	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	100.0%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5						5.00	4.88	4.85	
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	4						1	4.80	4.89	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4						1	4.80	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	4						1	4.60	4.88	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	4						1	4.80	4.90	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	4						1	4.80	4.88	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4						1	4.80	4.90	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	5							5.00	4.88	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	4						1	4.80	4.77	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	4						1	4.80	4.92	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4						1	4.80	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5							5.00	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4						1	4.60	4.90	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	4						1	4.80	4.90	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	4						1	4.80	4.88	4.89
問1～15全問平均								4.81	4.88	4.88	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

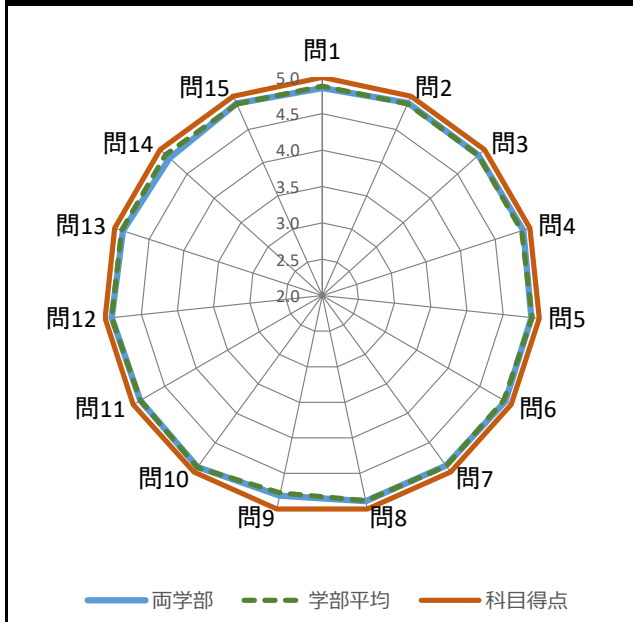
<質問別回答内訳と得点>
 ・グラフ内数字は回答数
 （3%未満は非表示）
 ・科目得点アミガケは
 科目得点 ≤ 3.5

科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0028]	履修者数	12	回答率	
教員名	越後 敬子		回答紙	10	83.3%	83.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	10						5.00	4.88	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	10						5.00	4.89	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	10						5.00	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	10						5.00	4.88	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	10						5.00	4.90	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	10						5.00	4.88	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	10						5.00	4.90	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	10						5.00	4.88	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	10						5.00	4.77	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	10						5.00	4.92	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10						5.00	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10						5.00	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	10						5.00	4.90	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	10						5.00	4.90	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	10						5.00	4.88	4.89
問1～15全問平均								5.00	4.88	4.88

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

< 質問別回答内訳と得点 >

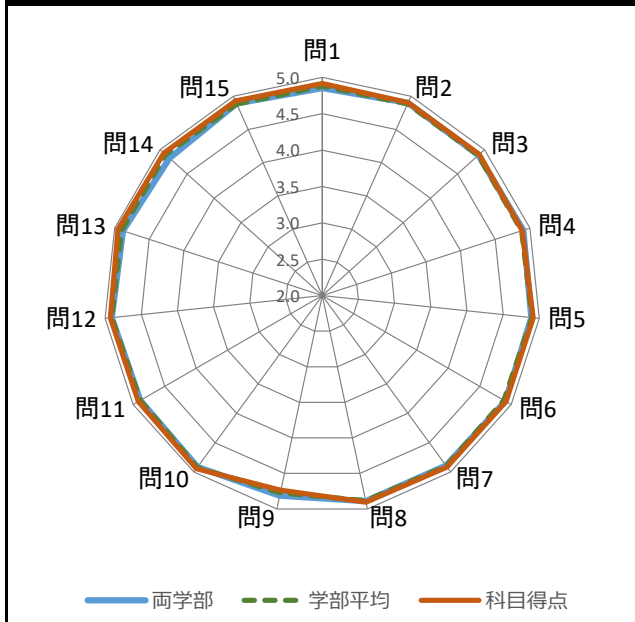
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護技術論Ⅱ (フィジカルアセスメント①)	[2J0020]	履修者数	89	回答率	
教員名	中村 滋子		回答紙	83	93.3%	93.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 76% blue, 7% green]						7	4.92	4.88	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart: 76% blue, 6% green]						6	4.90	4.89	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart: 77% blue, 5% green]						5	4.90	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart: 75% blue, 7% green]						7	4.89	4.88	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart: 77% blue, 5% green]						5	4.92	4.90	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart: 76% blue, 7% green]						7	4.92	4.88	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart: 76% blue, 7% green]						7	4.92	4.90	4.89
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	[Bar chart: 75% blue, 8% green]						8	4.90	4.88	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart: 68% blue, 11% green, 2% orange]						11	4.73	4.77	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 78% blue, 5% green]						5	4.94	4.92	4.91
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart: 76% blue, 7% green]						7	4.92	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 77% blue, 6% green]						6	4.93	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart: 79% blue, 4% green]						4	4.95	4.90	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	[Bar chart: 77% blue, 6% green]						6	4.93	4.90	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart: 77% blue, 6% green]						6	4.93	4.88	4.89
問1~15全問平均								4.91	4.88	4.88	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

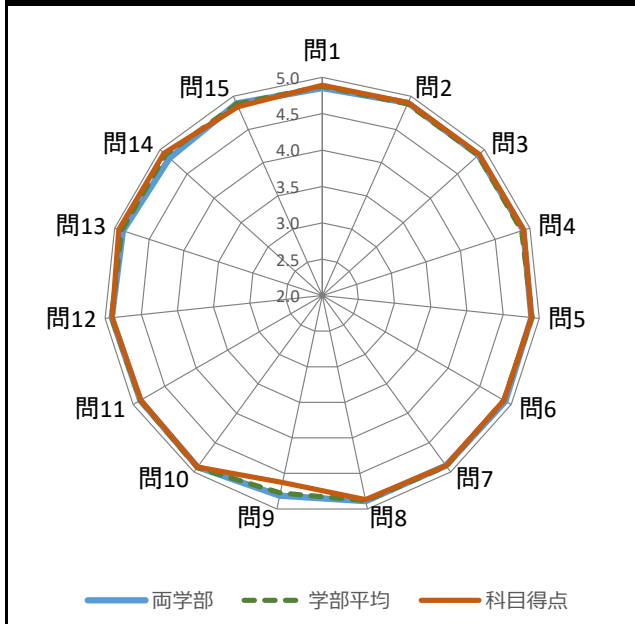
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)	[2J0050]	履修者数	89	回答率	
教員名	殿城 友紀		回答紙	83	93.3%	93.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	74						9	4.89	4.88	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	75						8	4.90	4.89	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	75						8	4.90	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	76						7	4.92	4.88	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	75						7	4.89	4.90	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	74						8	4.88	4.88	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	74						9	4.89	4.90	4.89
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	73						9	4.87	4.88	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	64					12	3	4.63	4.77	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	76						5	4.91	4.92	4.91
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	74						7	4.88	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	76						5	4.90	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	77						5	4.94	4.90	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	76						6	4.93	4.90	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	71						10	4.84	4.88	4.89
問1~15全問平均								4.88	4.88	4.88	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

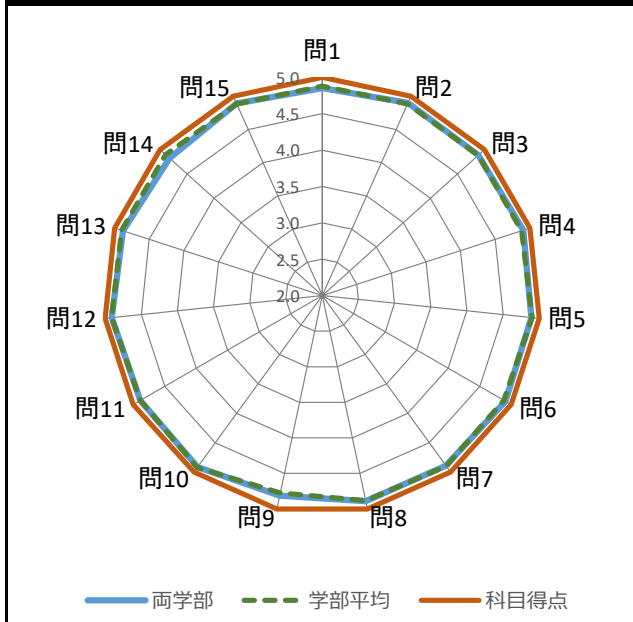
<質問別回答内訳と得点>
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは
 科目得点 ≤ 3.5

科目名	国際看護学演習	[2P0020]	履修者数	3	回答率	
教員名	織方 愛		回答紙	3	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.88	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.89	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.88	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.90	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.88	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.90	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.88	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.77	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.92	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.90	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.90	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 3 responses]						5.00	4.88	4.89
問1～15全問平均								5.00	4.88	4.88

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

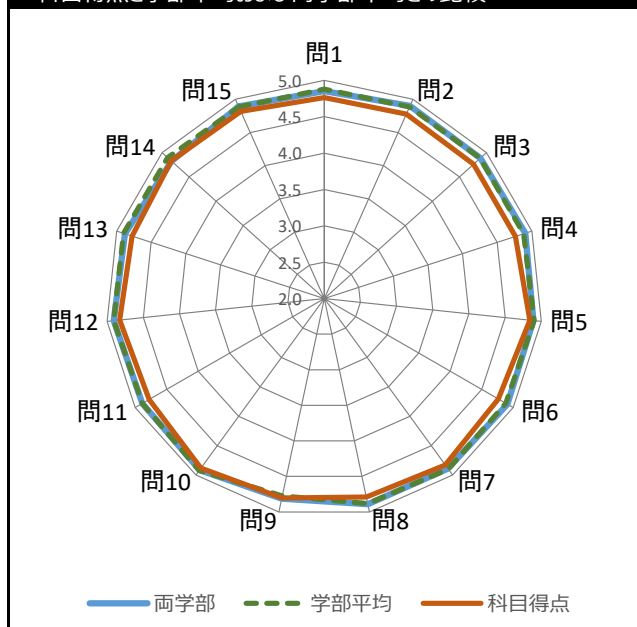
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	災害看護活動論 I	[2P0040]	履修者数	76	回答率		
教員名	橋爪 朋子		回答紙	76	100.0%	100.0%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.76	4.88	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 17% 'Agree']						4.78	4.89	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.76	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.76	4.88	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.84	4.90	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.76	4.88	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.83	4.90	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.79	4.88	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.80	4.77	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree' and 9% 'Agree']						4.88	4.92	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.78	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.83	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.78	4.90	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.83	4.90	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.82	4.88	4.89
問1～15全問平均								4.80	4.88	4.88

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Dark Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

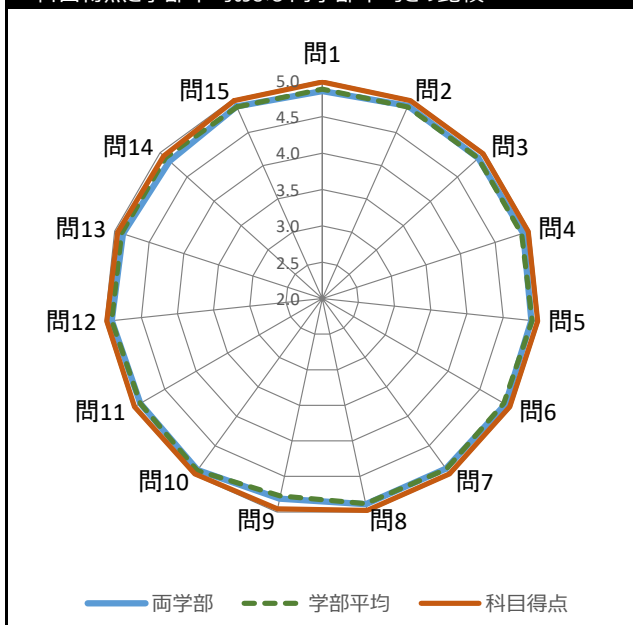
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	災害看護活動論Ⅱ	[2P0050]	履修者数	46	回答率	
教員名	橋爪 朋子		回答数	44	95.7%	95.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	紙	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	43						4.98	4.88	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	43						4.98	4.89	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	43						4.98	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	43						4.98	4.88	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	43						4.98	4.90	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	43						4.98	4.88	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	43						4.98	4.90	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	43						4.98	4.88	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	42						4.95	4.77	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	43						4.98	4.92	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	43						4.98	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	43						4.98	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	42						4.95	4.90	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	41						4.93	4.90	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	43						4.98	4.88	4.89
問1～15全問平均								4.97	4.88	4.88

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
2B0040	臨床心理学	遠藤公久	とても高い評価をいただき、ありがとうございました。 来年度もよりよい授業に努めたいと思います。
2G0024	基礎ゼミⅡ	角田敦彦	今回のゼミは、概ね受講生のみなさんのニーズに合ったものになったようです。ゼミで身につけた知識や技術を今後の学習や発表に役立てていただければ幸いです。
2G0026	基礎ゼミⅡ	逸見 功	アンケートの回答をありがとうございました。 本ゼミを受講して、クリティカルシンキングと根拠に基づく思考の知識とスキルがかなり修得できたことを嬉しく思います。自分の意見をわかりやすく説明するとともに、他者を理解するのに役立ててください。
2G0028	基礎ゼミⅡ	越後敬子	「差別」の問題について、全員であるいは個別で考えてもらいました。それぞれが適切な課題を見つけ、レポートに結び付けることができたと思います。授業方針について、今後はグループによる調査なども取り入れたいと思っています。
2J0020	看護技術論Ⅱフィジカルアセスメント②	中村滋子	授業へのご意見をありがとうございます。デモンストレーションが学修の役に立っていることは大変嬉しいことで、今後もより実践に近い授業作りを心がけていきたいと思っています。 授業時間の配分については課題が有り、時間の延長がないようにしていきたいと思っています。 貴重なご意見をありがとうございました。
2J0050	看護技術論Ⅲ（基礎看護技術②）	殿城友紀	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。設問の回答から、学生のみなさんが深い学びを得ていることが分かりました。今後も、丁寧に分かりやすく、技術が身につく演習を皆さんと一緒に作り上げていきたいと思っています。 課題として、慌ただしくならない演習時間の確保をご指摘いただきました。限られた時間の中での、時間配分や演習時間の確保は教員も苦慮しているところです。なるべく演習時間を確保できるよう、事前学習内容の検討や授業方法の改善に取り組んでいきます。よいアイデアがあればぜひお聞かせください。
2P0020	国際看護学演習	織方 愛	全員の学生がアンケートに回答してくださりありがとうございます。 非常に有意義な時間であったこと、幼稚園や小学校での経験が印象的であったこと、大変うれしく思います。 2018年3月以来、6年ぶりの渡航でしたが、皆さんの満足度も高く、レポートからも良い学びとなったことが伝わってきます。 より良いプログラムになるよう、インドネシアの方々と相談しながら続けていきます。織方愛
2P0040	災害看護活動論Ⅰ	橋爪朋子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。 みなさんが主体的に本科目の学修を進めてくれたことがとても伝わり嬉しく思っております。 自由記載では、良い点として、GWをたくさん行うことで初めて話した仲間と、仲を深めることができ、より深く学べた、発表後に肯定してくれて、拍手もあり発表してよかったと感じたなど、たくさん挙げていただきました。 改善点としてのコメントはありませんでしたが、皆さんにとって学びやすい環境を整え、もっと興味をもって学び続けていただけるよう引き続き努力をしてまいります。 貴重な意見をありがとうございました。次年度に活かしてまいります。

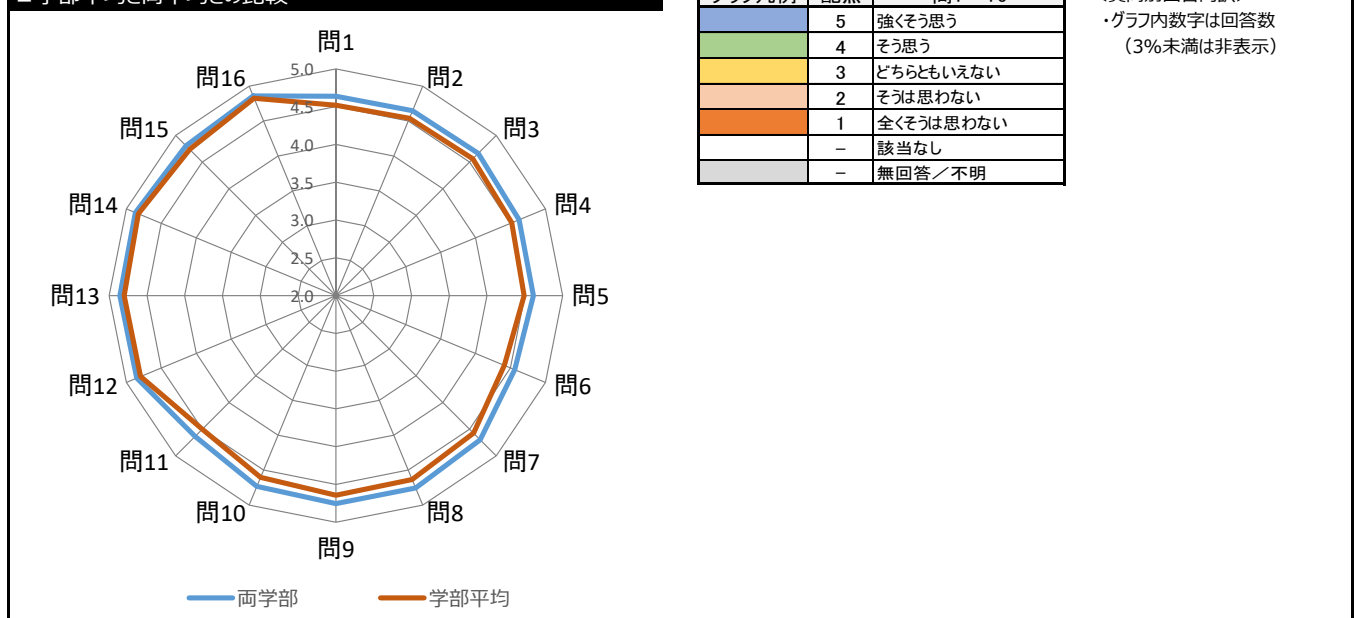
2P0050	災害看護活動論Ⅱ	橋爪朋子	<p>授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。</p> <p>みなさんが主体的に本科目の学修を進めてくれたことがとても伝わり嬉しく思っております。</p> <p>自由記載では、良い点として、重いテーマが多い中で、教員が、学生を労り良い学びとなるよう配慮（声掛けの言葉選び、声色）を感じた。ポジティブなフィードバックに癒され、心からこの授業を受けてよかったと感じたなどの素敵なフィードバックをいただきました。</p> <p>改善点としてのコメントはありませんでしたが、皆さんにもっと興味をもって学び続けていただけるよう引き続き努力をまいります。貴重な意見をありがとうございました。次年度に活かしてまいります。</p>
--------	----------	------	---

学部名	さいたま看護学部			履修者数		901	回答率	
				回答数	紙	595	66%	66%
					WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q1]						4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q2]						4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q3]						4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q4]						4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q5]						4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q6]						4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q7]						4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q8]						4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q9]						4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q10]						4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q11]						4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart showing distribution of responses for Q12]						4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q13]						4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart showing distribution of responses for Q14]						4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q15]						4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q16]						4.83	4.86
問1～16全問平均								4.62	4.72

■ 学部平均と両平均との比較

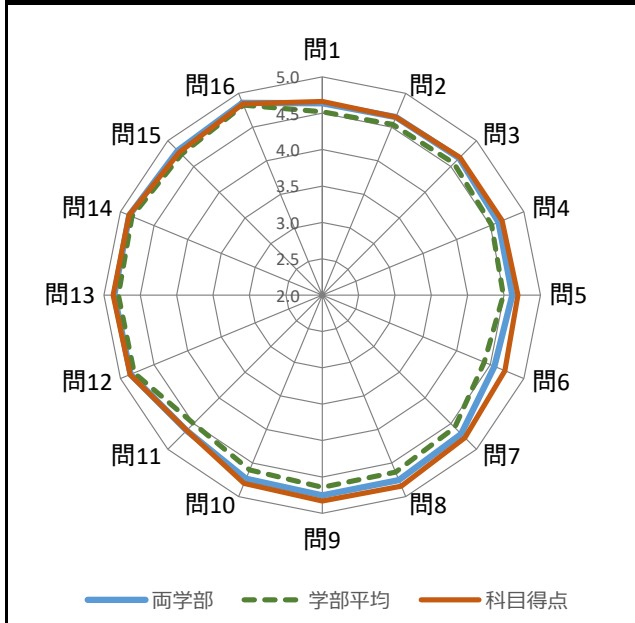


科目名	看護援助論実習〔レベルⅠ〕		[2R0010]	履修者数	89	回答率	
教員名	岡田 彩子			回答数	紙	71	80%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習		WEB	0	0%
80%							

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 54% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.66	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.65	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree', 9% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.68	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree', 10% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.68	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree', 9% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.69	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree', 11% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.72	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree', 11% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.77	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree', 8% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.85	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree', 8% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.83	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 10% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.80	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.63	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree', 10% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.86	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree', 9% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.87	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree', 9% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.87	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree', 10% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.77	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree', 4% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.85	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.76	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

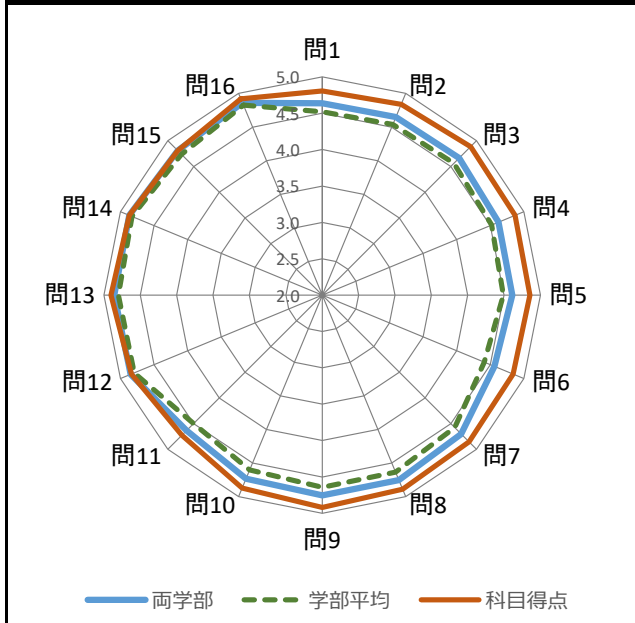
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護援助論実習〔レベルⅡ〕		[2R0020]	履修者数	86	回答率	
教員名	岡田 彩子			回答紙	62	72%	72%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	回答数	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 52 blue, 9 green]						4.81	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 54 blue, 7 green]						4.84	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 54 blue, 7 green]						4.89	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 55 blue, 5 green]						4.87	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 55 blue, 6 green]						4.85	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 54 blue, 7 green]						4.84	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 55 blue, 6 green]						4.85	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 57 blue, 4 green]						4.89	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 57 blue, 5 green]						4.92	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 54 blue, 8 green]						4.87	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 50 blue, 8 green, 3 orange]						4.73	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 53 blue, 8 green]						4.84	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 56 blue, 6 green]						4.90	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 54 blue, 8 green]						4.87	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 53 blue, 6 green, 3 orange]						4.81	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 57 blue, 5 green]						4.92	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.86	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

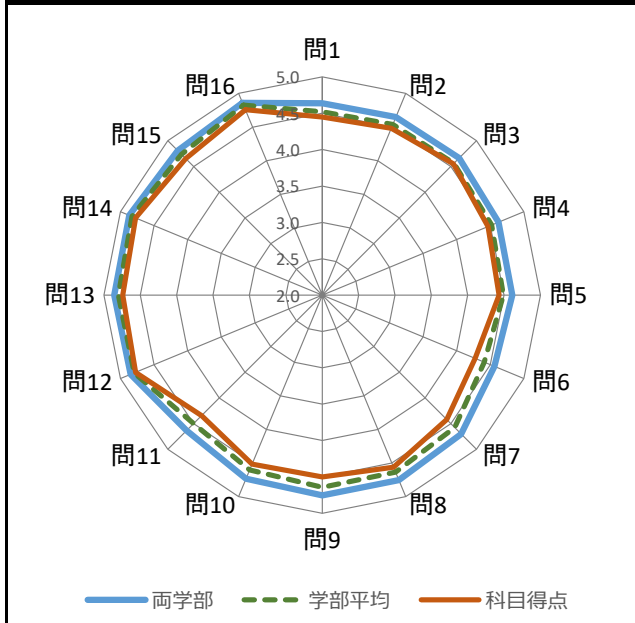
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕		[2R0030]	履修者数	89	回答率	
教員名	小宮 敬子			回答紙	58	65%	65%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	回答数	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 33% for 'Strongly agree', 19% for 'Agree', 5% for 'Disagree', 43% for 'No answer/Unknown']						4.45	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart showing 34% for 'Strongly agree', 19% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 43% for 'No answer/Unknown']						4.48	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 39% for 'Strongly agree', 15% for 'Agree', 2% for 'Disagree', 44% for 'No answer/Unknown']						4.55	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing 36% for 'Strongly agree', 16% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 44% for 'No answer/Unknown']						4.47	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 35% for 'Strongly agree', 16% for 'Agree', 5% for 'Disagree', 44% for 'No answer/Unknown']						4.43	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart showing 28% for 'Strongly agree', 21% for 'Agree', 6% for 'Disagree', 45% for 'No answer/Unknown']						4.28	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 32% for 'Strongly agree', 19% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 45% for 'No answer/Unknown']						4.42	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart showing 34% for 'Strongly agree', 21% for 'Agree', 2% for 'Disagree', 43% for 'No answer/Unknown']						4.56	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 33% for 'Strongly agree', 22% for 'Agree', 2% for 'Disagree', 43% for 'No answer/Unknown']						4.50	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree', 15% for 'Agree', 5% for 'Disagree', 43% for 'No answer/Unknown']						4.52	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 33% for 'Strongly agree', 18% for 'Agree', 3% for 'Disagree', 46% for 'No answer/Unknown']						4.34	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree', 11% for 'Agree', 43% for 'No answer/Unknown']						4.78	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree', 13% for 'Agree', 43% for 'No answer/Unknown']						4.74	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree', 11% for 'Agree', 43% for 'No answer/Unknown']						4.78	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart showing 41% for 'Strongly agree', 14% for 'Agree', 3% for 'Disagree', 42% for 'No answer/Unknown']						4.66	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree', 10% for 'Agree', 44% for 'No answer/Unknown']						4.76	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.54	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

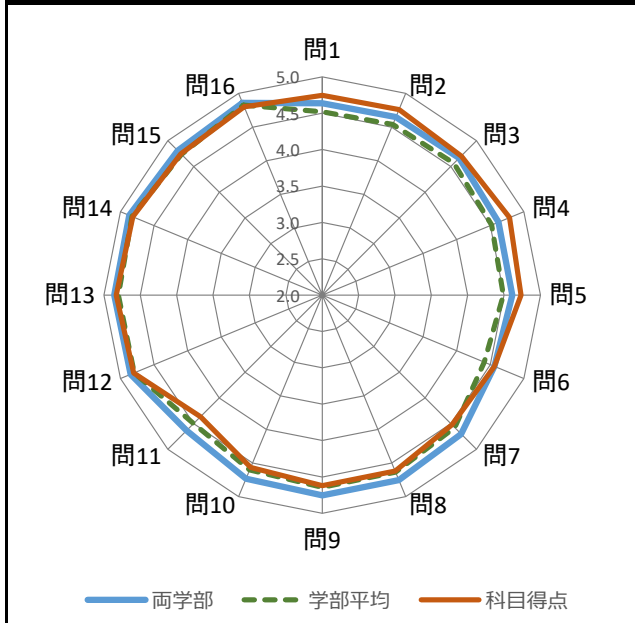
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	発達看護学 I 実習〔レベルⅢ〕		[2R0040]	履修者数	89	回答率	
教員名	喜多 里己			回答紙	71	80%	80%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	回答数	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 53% Blue, 18% Green]						4.75	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 54% Blue, 17% Green]						4.76	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 52% Blue, 17% Green, 3% Yellow]						4.70	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 56% Blue, 15% Green]						4.79	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 55% Blue, 14% Green, 1% Yellow]						4.73	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 46% Blue, 20% Green, 4% Yellow]						4.56	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 44% Blue, 23% Green, 3% Yellow]						4.52	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 48% Blue, 21% Green]						4.62	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 49% Blue, 18% Green, 3% Yellow]						4.62	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 45% Blue, 22% Green, 3% Yellow]						4.56	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 41% Blue, 20% Green, 7% Yellow]						4.37	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 57% Blue, 14% Green]						4.80	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 60% Blue, 10% Green]						4.83	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 58% Blue, 13% Green]						4.82	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 55% Blue, 14% Green, 1% Yellow]						4.75	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 58% Blue, 12% Green]						4.80	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.69	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

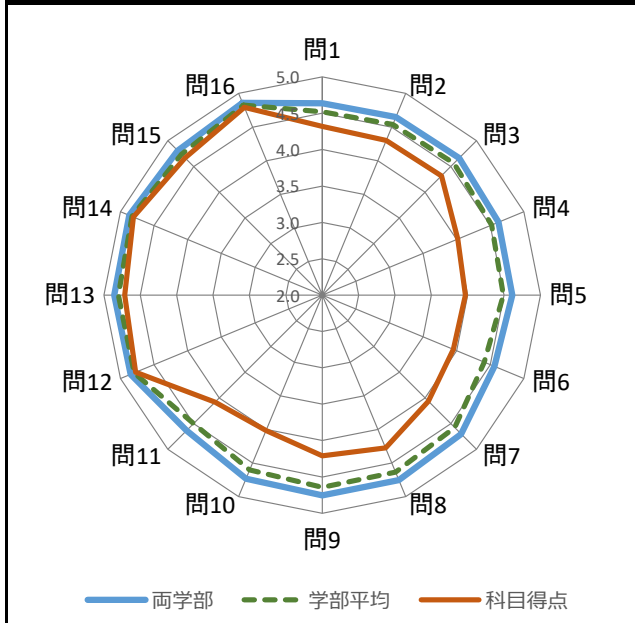
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	発達看護学Ⅱ実習〔レベルⅢ〕		[2R0050]	履修者数	89	回答率	
教員名	吉野 純			回答紙	63	71%	71%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	回答数	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	32	23	5	2			4.32	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	35	17	7	3			4.30	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	35	19	4	4			4.32	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	33	11	8	9	2		4.02	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	35	9	7	6	6		3.97	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	29	12	14	3	4		3.95	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	32	15	7	3	5		4.06	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	35	18	4	4			4.27	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	33	19	4	2	4		4.21	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	32	14	4	6	5	2	4.02	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	31	17	6	6	2		4.08	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	49	12					4.77	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	49	11	2				4.71	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	52	10					4.81	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	46	13	4				4.67	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	51	11					4.79	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.33	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
-	-	該当なし
-	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

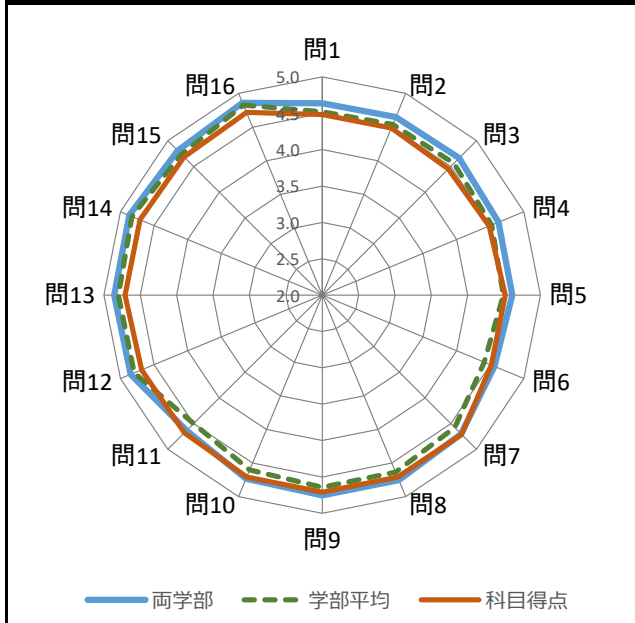
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	コミュニティケア実習 I〔レベルⅣ〕		[2R0080]	履修者数	44	回答率	
教員名	喜多 里己			回答紙	32	73%	73%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	回答数	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	17	12	2	1			4.48	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	17	12	2	1			4.48	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	16	13	2	1			4.45	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	17	12	2	1			4.48	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	18	11	2	1			4.52	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	18	11	2	1			4.52	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	22	9	1				4.71	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	22	9	1				4.71	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	22	9	1				4.71	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	22	9	1				4.71	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	21	10	1				4.68	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	22	10					4.69	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	22	9	1				4.71	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	22	9	1				4.71	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	22	10					4.69	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	23	9					4.72	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.62	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
-	-	該当なし
-	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

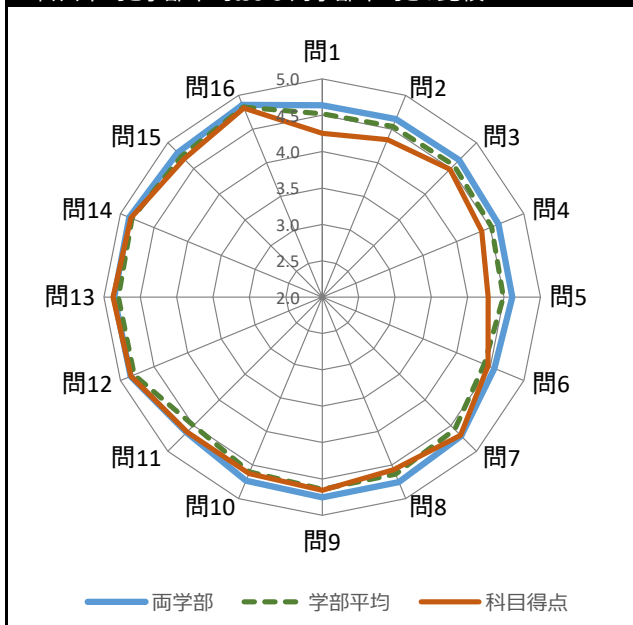
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	コミュニティケア実習 I〔レベルⅣ〕		[2R0080]	履修者数	44	回答率	
教員名	吉野 純			回答紙	32	73%	73%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	回答数	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	18	8	3	2	1		4.25	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	20	7	2	2	1		4.34	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	21	7	1	1	1		4.48	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	20	8	2	2			4.38	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	18	9	2	2	1		4.28	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	20	9	2	1			4.47	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	25	6	1				4.69	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	21	7	1	1	2		4.57	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	24	7	1				4.66	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	25	5	1				4.63	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	25	5	1				4.63	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	27	5					4.84	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	28	4					4.88	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	27	5					4.84	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	25	5	1				4.69	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	27	4	1				4.81	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.59	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
-	-	該当なし
-	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

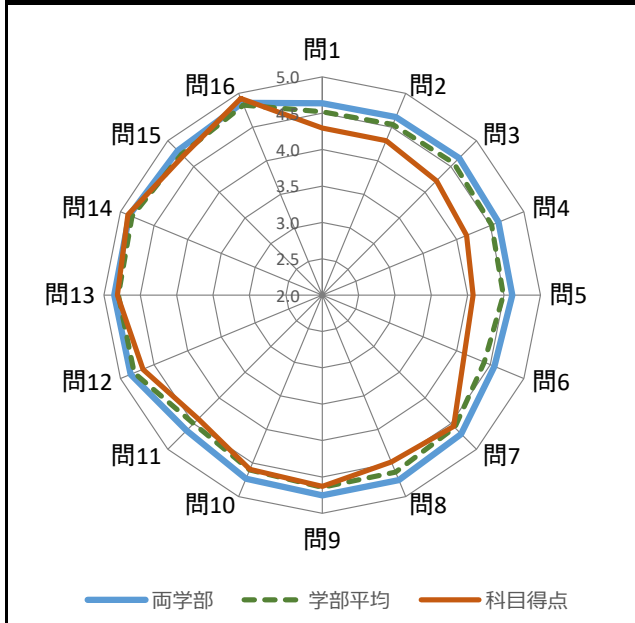
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	コミュニティケア実習 I〔レベルⅣ〕		[2R0080]	履修者数	44	回答率	
教員名	小宮 敬子			回答紙	27	61%	61%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	回答数	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.30	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.30	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.22	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.15	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.07	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.12	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.56	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.48	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.63	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.59	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.41	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.67	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.81	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.89	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.70	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Stacked bar chart showing counts for each rating]						4.93	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.49	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

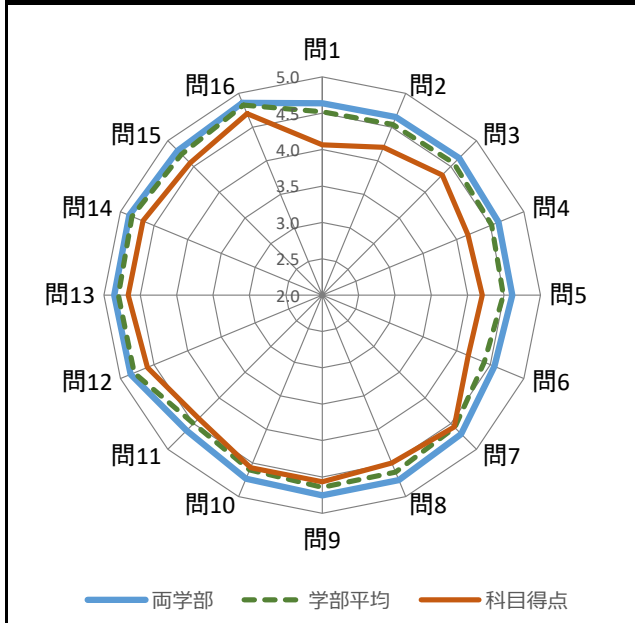
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕		[2R0080]	履修者数	44	回答率		
教員名	太田 喜久子			回答数	紙	30	68%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習		WEB	0	0%	
								68%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	8	17	4	1			4.07	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	11	14	5				4.20	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	12	16	2				4.33	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	11	13	6				4.17	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	11	15	3	1			4.20	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	9	17	2	1			4.17	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	17	13					4.57	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	16	13	1				4.50	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	17	13					4.57	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	17	13					4.57	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	15	13	1	1			4.40	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	18	12					4.60	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	20	10					4.67	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	20	10					4.67	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	18	11	1				4.57	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	21	9					4.70	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.43	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	該当なし
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

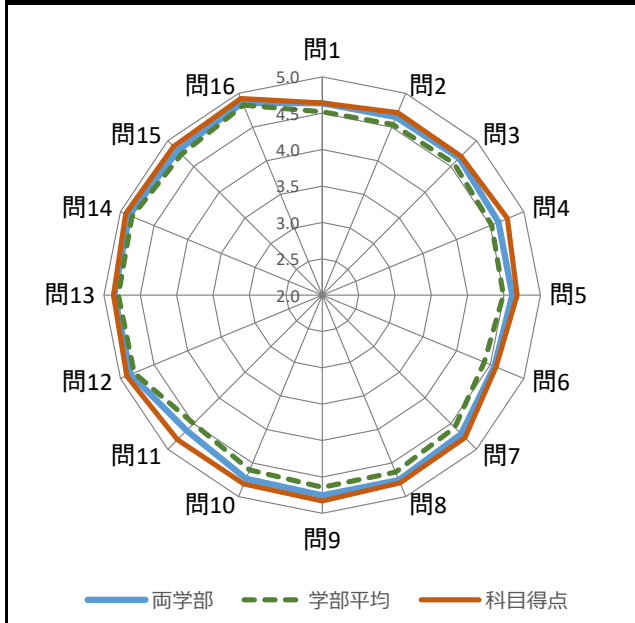
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	コミュニティケア実習Ⅱ〔レベルⅣ〕		[2R0090]	履修者数	87	回答率	
教員名	成木 弘子			回答数	紙	53	61%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習		WEB	0	0%
							61%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree', 8% for 'Agree', 4% for 'Disagree']						4.64	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree', 11% for 'Agree', 2% for 'Disagree']						4.72	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 41% for 'Strongly agree', 9% for 'Agree', 2% for 'Disagree']						4.70	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart showing 42% for 'Strongly agree', 10% for 'Agree']						4.75	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 39% for 'Strongly agree', 12% for 'Agree']						4.68	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart showing 36% for 'Strongly agree', 13% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.58	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree', 9% for 'Agree']						4.77	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree', 8% for 'Agree']						4.79	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree', 7% for 'Agree']						4.83	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree', 8% for 'Agree']						4.81	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree', 8% for 'Agree']						4.81	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree', 3% for 'Disagree']						4.91	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree', 5% for 'Agree']						4.87	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart showing 50% for 'Strongly agree', 2% for 'Disagree']						4.92	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart showing 48% for 'Strongly agree', 4% for 'Agree']						4.89	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart showing 50% for 'Strongly agree', 2% for 'Disagree']						4.92	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.79	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

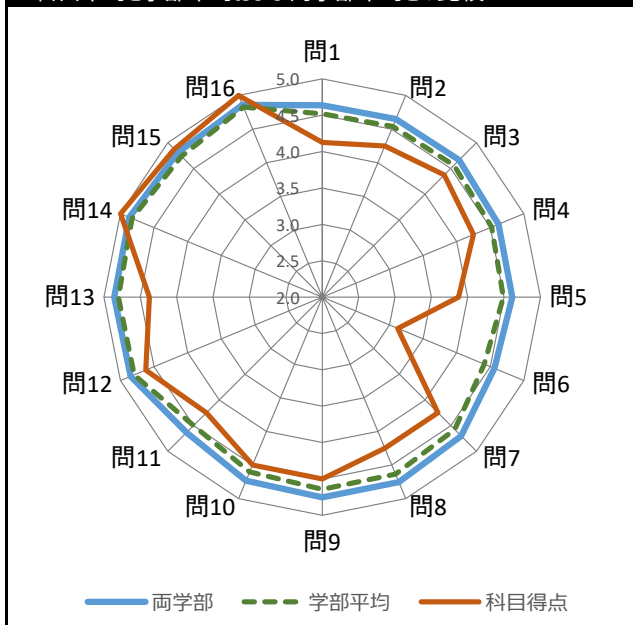
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(基礎・成人)		[2R0101]	履修者数	40	回答率	
教員名	岡田 彩子			回答紙	8	20%	20%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	回答数	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	3	3	2				4.13	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	2	6					4.25	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	3	5					4.38	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	2	6					4.25	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	3	2	2	1			3.88	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	2	1	2	2	1		3.13	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	3	4	1				4.25	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5	1	1	1			4.25	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	6	2					4.50	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	6	2					4.50	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5	3					4.25	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	6	1	1				4.63	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	6	1	1				4.38	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	8						5.00	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	7	1					4.88	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	8						5.00	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.35	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
-	-	該当なし
-	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

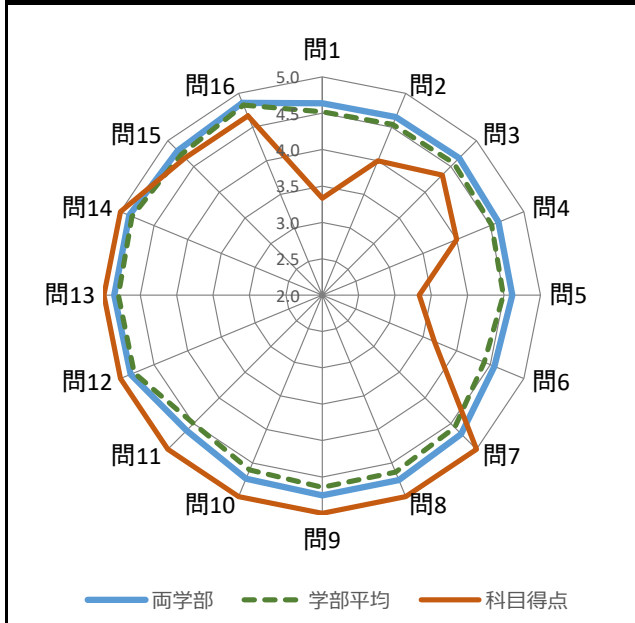
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(小児)	[2R0102]	履修者数	8	回答率	
教員名	吉野 純		回答数	紙	3	38%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0%
38%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	1	1	1				3.33	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	1	1	1				4.00	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。		2	1				4.33	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	1	1	1				4.00	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	1	1	1				3.33	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	1	2					3.67	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			3				5.00	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。			3				5.00	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			3				5.00	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。			3				5.00	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。			3				5.00	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。			3				5.00	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。			3				5.00	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。			3				5.00	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	2	1					4.67	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	2	1					4.67	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.50	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
-	-	該当なし
-	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

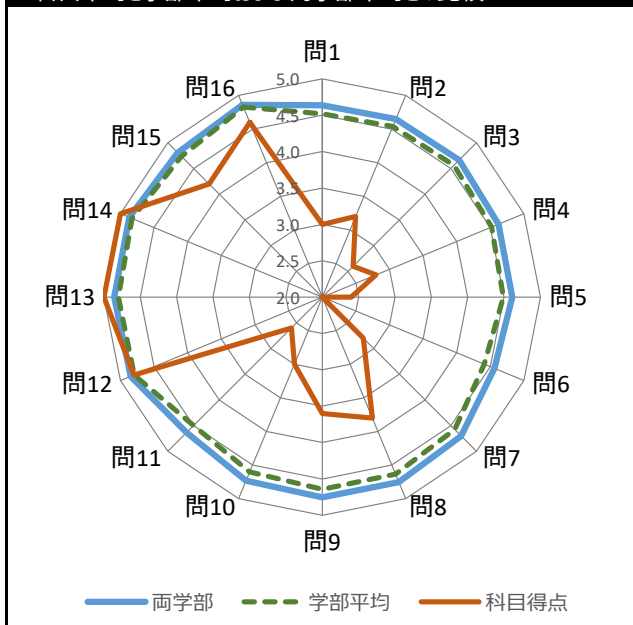
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(精神)	[2R0103]	履修者数	8	回答率	
教員名	小宮 敬子		回答紙	5	63%	63%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0% 20% 40% 60% 80% 100%					科目得点	学部平均	両学部
		5	4	3	2	1			
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	2	1	2			3.00	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	2	2	1			3.20	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	1	2	2			2.60	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	1	2	2			2.80	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	1	1	3			2.40	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	1	1	3			2.00	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	1	1	1	2		2.80	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	2	1	1	1		3.80	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	2	2	1			3.60	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	1	3	1			3.00	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	1	2	2			2.60	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。		4		1		4.80	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。		5				5.00	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。		5				5.00	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	2	2	1			4.20	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。		4	1			4.60	4.83	4.86
問1～16全問平均							3.46	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
Blue	5	強く思う
Green	4	そう思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Light Orange	1	全くそうは思わない
Grey	-	該当なし
Grey	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

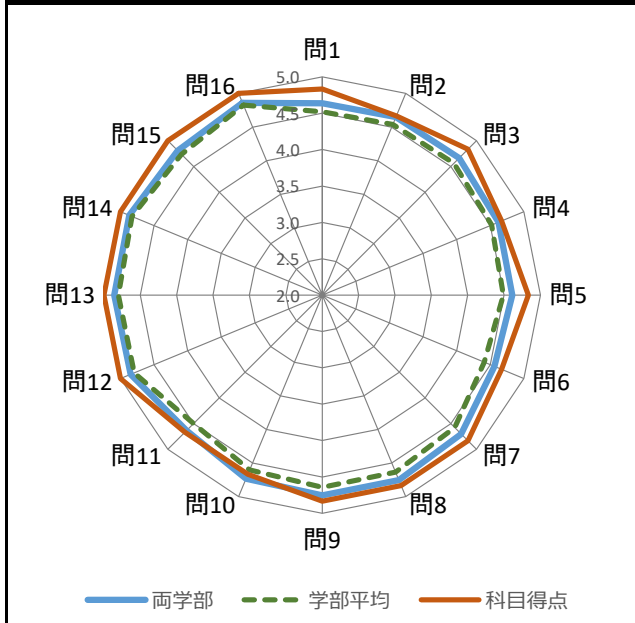
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(母性)	[2R0104]	履修者数	8	回答率		
教員名	喜多 里己		回答紙	6	75%	75%	
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]						4.83	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 4 blue, 2 green]						4.67	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]						4.83	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 4 blue, 2 green]						4.67	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]						4.83	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 5 blue, 1 yellow]						4.67	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]						4.83	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]						4.83	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]						4.83	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 5 blue, 1 yellow]						4.67	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 5 blue, 1 yellow]						4.67	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 6 blue]						5.00	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 6 blue]						5.00	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 6 blue]						5.00	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 6 blue]						5.00	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 6 blue]						5.00	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.83	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

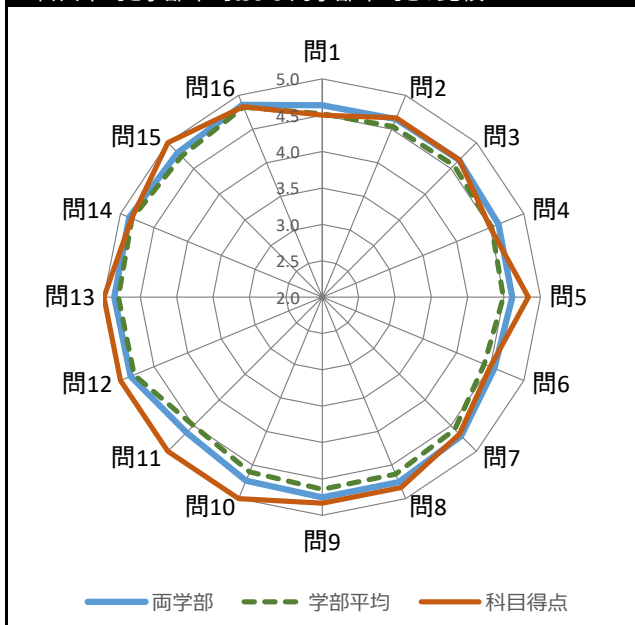
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(老年)	[2R0105]	履修者数	12	回答率	
教員名	太田 喜久子		回答数	紙 6	50%	50%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 4 blue, 1 green, 1 yellow]						4.50	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 5 blue, 1 yellow]						4.67	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 4 blue, 2 green]						4.67	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 4 blue, 1 green, 1 yellow]						4.50	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]						4.83	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 4 blue, 1 green, 1 yellow]						4.50	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 4 blue, 2 green]						4.67	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]						4.83	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]						4.83	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 6 blue]						5.00	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 6 blue]						5.00	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 6 blue]						5.00	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 6 blue]						5.00	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]						4.83	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 6 blue]						5.00	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]						4.83	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.79	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

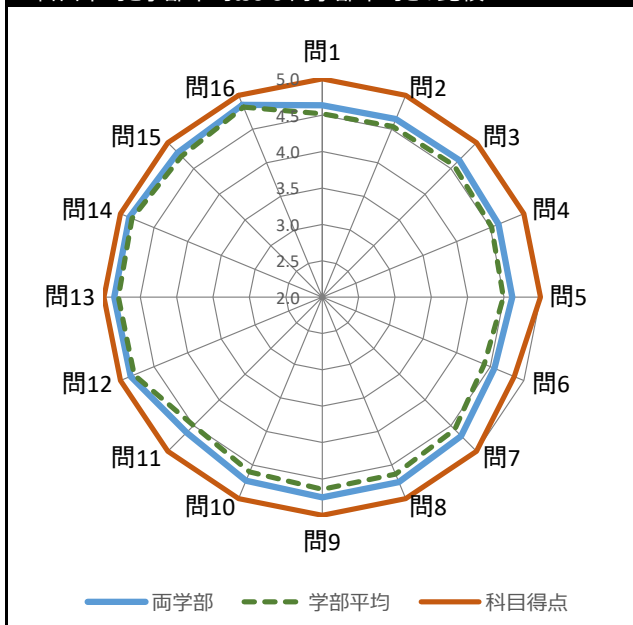
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(地域)	[2R0106]	履修者数	11	回答率	
教員名	成木 弘子		回答数	7	紙	64%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	0	WEB	0%
						64%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	7						5.00	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	7						5.00	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	7						5.00	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	7						5.00	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	7						5.00	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	6					1	4.86	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	7						5.00	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	7						5.00	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	7						5.00	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	7						5.00	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	7						5.00	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	7						5.00	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	7						5.00	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	7						5.00	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	7						5.00	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	7						5.00	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.99	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
-	-	該当なし
-	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

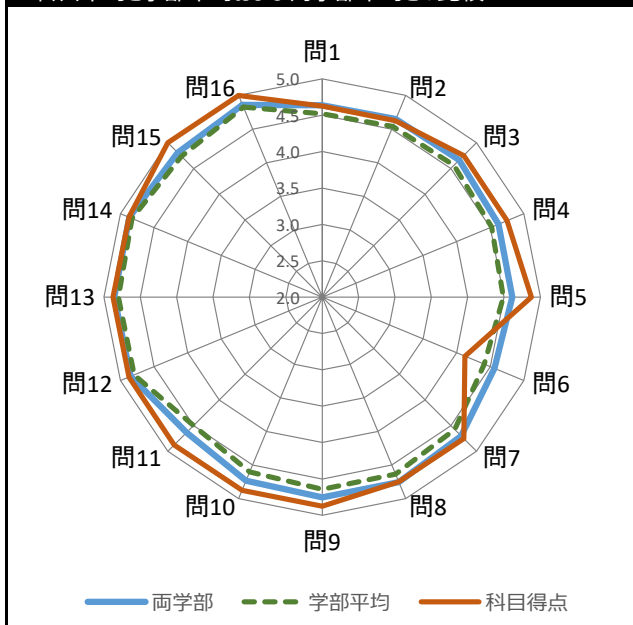
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	公衆衛生看護学実習	[2T0060]	履修者数	20	回答率		
教員名	成木 弘子		回答数	紙	8	40%	40%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 6 blue, 1 green, 1 yellow]						4.63	4.52	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 6 blue, 1 green, 1 yellow]						4.63	4.54	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 7 blue, 1 yellow]						4.75	4.56	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 7 blue, 1 yellow]						4.75	4.52	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.49	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 5 blue, 1 green, 1 yellow, 1 orange]						4.13	4.41	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 7 blue, 1 yellow]						4.75	4.57	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 6 blue, 2 green]						4.75	4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.64	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.60	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.50	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.80	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.80	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.83	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.74	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.83	4.86
問1～16全問平均								4.78	4.62	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
2R0010	看護援助論実習〔レベルⅠ〕	岡田彩子 吉田みつ子	みなさんが一生懸命に実習に取り組まれたことがアンケート結果を通して伝わってきました。病棟で実習を担当する教員からもよき助言を得て進められたようです。実習の評価面接の方法など、一部、教員よって対応に差異があるとのこと意見がありました。担当した教員と十分に振り返り、改善してまいります。
2R0020	看護援助論実習（レベルⅡ）	奥原秀盛	アンケートへのご協力、有難うございました。 概ね、教員の良好な関わりによって有意義な実習ができたようで嬉しく思います。一部、アセスメントへのコメントや中間発表の日程調整等において教員間で異なるとのこと意見を頂きました。今後は連絡調整を密にしながら、教員間で齟齬のないように致します。
2R0030	精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕	小宮敬子 松本佳子	精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕に関して、コメントをよせていただきまして、ありがとうございます。いただいたコメントに基づきまして、来年度からの実習運営に反映させていきたいと思っております。 特に、実習病棟と教員同士の連携につきましては、学生の皆さんの学習環境を整えることを第一に考え、検討を重ねていきたいと考えております。この度は、率直なご意見をありがとうございました。
2R0040	発達看護学Ⅰ実習〔レベルⅢ〕	喜多里己	アンケートへのご協力ありがとうございました。母性看護学実習は、様々な部署で自立して実習をしていただきました。母子実習では受け持ち期間が3日間ととても短いなか、母子の理解を深めようとする皆さんの取り組みが素晴らしかったです。残念ながら、年々出生数が減少しているため、分娩室実習での経験が少なかったり、受け持ち母子がなかなか決まらなかったり、予定した実習が展開できない場合もありますが、状況にあわせて進めていきたいと思っております。
2R0050	発達看護学Ⅱ実習〔レベルⅢ〕	吉野 純	様々ご意見いただきありがとうございました。教員の対応について大変不快な思いをさせてしまったようで申し訳ありません。実習の学びにつながるような指導について、教員も振り返りを行い洗練していきたいと思っております。外来実習は施設により患者の状況や内容に偏りが生じているのは把握しております。その中で様々な学びが得られるようにオリエンテーションや環境を整えていきたいと思っております。
2R0060	発達看護学Ⅲ実習〔レベルⅢ〕	太田喜久子 住谷ゆかり	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。 実習を通して「老年という未経験のライフステージにいる方々の理解を深められた」というご意見に教員一同とてもうれしく思っております。 一方で、実習指導体制などにも率直なご意見をいただきました。皆さんからのご意見を真摯に受け止め、今後の実習指導内容・指導体制などの検討につなげてまいります。
2R0080	コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕（小児看護学）	吉野 純	ご意見ありがとうございました。実習時間の変更やグループワークの時間延長など、より学びを深めるために有益なご提案だと思います。検討したいと思います。レポートの提出期限についても、次の実習や授業になるべく影響が出ないように設定しておりましたが、いただきましたご意見を参考に検討したいと思います。
2R0080	コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕	小宮敬子 松本佳子	コミュニティケア実習Ⅰに関して、コメントをよせていただきまして、ありがとうございます。 「グループホームの運営者やピアサポーターとの話が聞ける時間が設けられるとより良い」というご意見をいただきましたので、来年度の実習に向けて、調整していきたいと思っております。 教員の対応につきましても、ご意見をいただきました。いただいたコメントに基づきまして、来年度からの実習運営に反映させていきたいと思っております。率直なご意見をありがとうございました。
2R0080	コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕（母性）	喜多里己	アンケートへのご協力ありがとうございました。 母性看護領域では、1～2名でそれぞれ2種類の助産院で実習をしていただきました。最終日の最終カンファレンスでは、各学生の学びを共有し、病院を退院した後の母子と家族への支援への考察が深まりました。レベルⅢからの学びを統合し、現代社会における地域の母子と家族への支援課題が見いだす実習になっていたと思います。引き続き、皆さんの理解が深まるよう、助産院と連携して実習を進めていきます。

2R0080	コミュニティーケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕	太田喜久子 住谷ゆかり	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。 アンケートの結果より、皆さんが主体的に実習に取り組まれていたことにあらためて安堵しつつ、実習指導体制に関することなどいただいたご意見については、今後の実習指導体制の検討につなげていきたいと思っております。
2R0090	コミュニティーケア実習Ⅱ	成木弘子 藤川あや	貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。教員の指導はラウンド形式で、皆さんが訪問に出ていることなどの理由で、ご意見の通り、他の実習と比較すると、教員が実習中にみなさんへ指導する時間は短くなります。しかし、教員はいつでも皆さんに対応できる体制をとっていますので、疑問や質問があれば教員に聞いていただけると嬉しいです。どうぞよろしく申し上げます。
2R0101	看護学総合実習（基礎・成人）	岡田彩子 奥原秀盛	アンケートへのご協力、有難うございました。 ・教員・指導者間および教員間の連携が取れていないのご指摘がありました。今後は、実習前の指導者への説明会を充実させると共に、実習中の教員・指導者間および教員間の連絡・連携の充実を図りたいと考えています。具体的には、必ず1日1回は指導者・教員間の情報共有の時間をもつこととします。 ・実習記録へのコメントは、前後の内容も踏まえて記載して欲しいとの要望がありましたので、教員間で共有いたします。 ・実習要項の内容が分かりにくかったのご指摘がありました。オリエンテーション時の説明を工夫すると共に、不明点について学生から質問するよう働きかけたと思います。 ・実習前にチームの学生間で交流する機会を作って欲しいとの要望がありましたので、オリエンテーションの方法についても工夫したいと思います。なお、学生編成については、これまでの学生個々の実習経験など様々な要因を考慮していますので、限界があることをご了承ください。
2R0102	看護学総合実習（小児）	吉野 純	教員、施設担当者の指導に関してご意見ありがとうございます。つらい実習となってしまう大変申し訳なく感じています。いただいた内容を担当者間で共有し改善につなげていきたいと思っております。
2R0103	看護学総合実習（精神）	小宮敬子 松本佳子	看護学総合実習（精神）に関して、コメントをよせていただきまして、ありがとうございます。いただいたコメントに基づきまして、来年度からの実習運営に反映させていきたいと思っております。 特に、実習場と教員同士の連携につきましては、学生の皆さんの学習環境を整えることができるよう尽力してまいります。そして、学生の言葉を真摯に受け止め、皆さん方の心身のサポートを第一とし、教員という導き手としての役割を担うため、自己研鑽を重ねていきたいと考えています。この度は、率直なご意見をありがとうございました。
2R0104	看護学総合実習（母性）	喜多里己	アンケートへのご協力ありがとうございました。 学生一人一人が総合実習の目標を明確にし、できるかぎりその目標を実現できるよう、施設と調整して実習を行いました。最終日の成果発表会では、臨床指導者にもご参加いただき、各学生の実習成果を共有することができました。これからも、4年生最後の実習を、各学生の目標にあわせて行うことができるよう施設と連携していきたいと思っております。
2R0105	看護学総合実習（老年）	太田喜久子 住谷ゆかり	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。概ね良い評価をいただきました。 総合実習では、個々の目標の達成に向けて努力しながら、4年間の集大成としての実習に主体的に取り組むことができたようでよかったです。これからも皆さんにとって充実した実習となるよう取り組んでいきます。
2R0106	看護学総合実習（地域）	成木弘子 藤川あや	地域包括ケアについて、みなさんが積極的に実習に臨んだことにより、深い学びを得ることができて大変嬉しく思っています。この学びを臨床・臨地の看護活動に活かすことができるよう願っています。
2T0060	公衆衛生看護学実習	成木弘子 藤川あや	貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。皆さんが安心して充実した実習ができるように、今後も一人ひとりの学生さんを丁寧に実習指導していきたいと思っております。